

# 平成30年度 事業報告書 決算書



神栄町の五平餅

(神栄町有志で開催した「大人と子どもがつながる食堂」で調理した五平餅 3/25)



社会福祉法人 大町市社会福祉協議会



# 平成30年度 事業報告書

ありがとう うれしいことば がんばれる

(大町北小学校1年 駒澤優一さん)

平成30年度 福祉啓発標語 最優秀作品

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

# 目次

■ 主な会議・行事等 ..... (P1)

■ 寄付採納 ..... (P5)

■ 主要事業の実績

## I 地域福祉推進基盤の強化

1. 法人運営基盤の強化 ..... (P7)

- (1) 法人運営事業
- (2) 資産管理・退職共済・処遇改善事業
- (3) 災害時支援体制の強化

2. 地域福祉活動の財源確保 ..... (P12)

- (1) 会員組織強化事業
- (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

3. 公益事業の推進 ..... (P14)

## II お互いさまのまちづくり

1. 地域における支え合い活動の推進 ..... (P18)

- (1) 地域ふれあい交流事業
- (2) 住民支え合いマップ事業
- (3) 小地域福祉ネットワーク事業
- (4) 地区社協事業
- (5) 市民ふれあい広場の開催

2. ボランティア活動の推進 ..... (P21)

- (1) ボランティアセンター運営事業
- (2) 有償ボランティア事業

## III 安心して暮らせるまちづくり

1. 生活支援活動の推進 ..... (P24)

- (1) 心配ごと相談事業
- (2) 福祉輸送サービス事業
- (3) 日常生活自立支援事業
- (4) 成年後見支援センター事業
- (5) 豊かな暮らし応援事業

2. 高齢者福祉活動の推進 ..... (P30)

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 訪問入浴介護事業
- (4) 通所介護事業
- 【1】デイサービスセンターひなたぼっこ
- 【2】デイサービスセンターこすもす

【3】デイサービスセンターみさか

【4】デイサービスセンターみあさ

3. 障がい者福祉の推進 ..... (P35)

- (1) 障がい理解促進事業
- (2) 障がい者余暇活動支援事業
- (3) 障がい者就労支援事業
- (4) 地域生活支援事業
- 【1】障害福祉サービス計画支援事業
- 【2】大北圏域障害者相談支援事業
- 【3】発達障がいサポート・マネージャー事業
- 【4】障害者地域活動支援センター事業
- 【5】障がい者等生活支援事業
- ① 移動支援サービス
- ② 日中一時支援事業
- (5) 障がい福祉サービス事業
- 【1】障がい者居宅介護事業
- 【2】多機能型障害福祉サービス事業

4. 子育て支援活動の推進 ..... (P43)

- (1) 子育て応援ネットワーク事業
- (2) 育児支援ヘルパー派遣事業
- (3) 療育支援事業

5. 経済的支援活動の推進 ..... (P45)

- (1) 生活困窮者等自立支援事業
- (2) 家計相談支援事業
- (3) 資金貸付事業
- (4) 災害見舞金等支給事業

## IV 受け継がれるまちづくり

1. 地域における福祉意識の啓発 ..... (P48)

- (1) 福祉情報発信事業
- (2) 地域福祉意識啓発事業

2. 地域の担い手育成 ..... (P50)

- (1) 福祉教育推進事業
- (2) 生活支援体制整備推進事業

3. 地域福祉活動団体の育成 ..... (P51)

- (1) 企業ボランティア育成事業
- (2) 地域福祉活動団体育成事業

## ■ 主な会議・行事等

期 日	内 容	会 場
4月2日	職員辞令交付式（会長）	総合福祉センター
6日	定住促進協働会議総会（副会長）	市役所
9日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 地域情報化推進委員会（副会長）	総合福祉センター 市総合情報センター
10日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
11日	囲碁「第56期十段戦第3局」前夜祭（会長）	くろよん1111ホテル
12日	社協役職員歓送迎会（正副会長・常務理事）	JA アプローチ
18日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
20日	市町村社会福祉協議会事務局長会議（常務理事） 市民生児童委員協議会役員会・歓送迎会（正副会長）	浅間温泉文化センター 市役所・泉味
23日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
24日	所属長会議（常務理事）	〃
5月3日	大町ソフトボール連盟リーグ戦開幕式（会長）	市運動公園
5日	子どもの日公衆浴場無料サービス	総合福祉センター
8日	三役会（正副会長・常務理事） 北アルプス国際芸術祭実行委員会臨時総会（会長）	〃 市役所
14日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
20日	身体障害者福祉協会定例総会（会長）	〃
23日	大町市老人クラブ大会（会長）	サン・アルプス大町
24日	れんげ荘運動会（会長）	れんげ荘
25日	介護保険事業者連絡協議会総会・研修会（会長）	社公民館
28日	市社協会計監査（監事） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター 〃
6月5日	三役会（正副会長・常務理事）	〃
11日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	〃
12日	第1回理事会（理事・監事）	〃
18日	評議員選任・解任委員会	〃
22日	大北社会福祉事業協会理事会（会長）	大北福祉会館
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	所属長会議（常務理事）	〃
28日	長野県社会福祉協議会評議員会（会長）	県社会福祉総合センター
29日	第1回評議員会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
7月4日	八坂地区老人スポーツ大会（会長）	八坂小学校
5日	保育所等のあり方検討委員会（会長） 人権を考える市民の集い（副会長）	市役所 大町西小学校
6日	大町市青少年育成市民会議総務部会（会長） 同上 常任理事会（会長） 同上 理事会（会長）	市役所 〃 〃
9日	大北地域包括医療協議会総会（会長）	大北医師会館
10日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
12日	大町市民生児童委員協議会役員会（会長）	市役所
17日	安全衛生委員会（常務理事） 大町市民生委員推薦会（会長）	総合福祉センター 市役所
19日	社地区敬老会（会長）	黒部観光ホテル
22日	常盤地区敬老会（副会長）	JA アプローチ

期 日	内 容	会 場
24日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
26日	高瀬荘納涼祭（会長）	高瀬荘
31日	人権教育研究協議会・人権啓発講演会（副会長）	松筑建設会館
8月1日	市社協経営研修会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
4日	大町やまびこまつり社協連参加（正副会長・常務理事）	市内本通り
6日	保育所等のあり方検討委員会（会長）	市役所
7日	三役会（正副会長・常務理事） 職員交通安全講習会（常務理事）	総合福祉センター //
8日	鹿島荘納涼祭（会長）	鹿島荘
15日	大町市成人式（会長）	文化会館
18日	美麻地区ふれあいまつり（会長） 青少年健全育成市民大会（会長）	美麻総合福祉センター サン・アルプス大町
20日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
22日	介護保険事業者連絡協議会通所部会（会長）	//
25日	総合防災訓練・災害対応研修会（常務理事）	//
26日	平地区敬老会（会長）	平公民館
27日	人権を考える市民の集い（副会長）	八坂小学校
29日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
9月2日	日本禁煙友愛会中北信地区連絡協議会総会（会長）	ゆうぶる木崎湖
6日	県人権教育リーダー研修会（副会長）	県総合教育センター
7日	県知事来所（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
10日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	//
11日	三役会（正副会長・常務理事） 産業医職場巡視（常務理事）	//
12日	長野県社会福祉大会（正副会長・常務理事）	塩尻市文化会館
14日	美麻地区敬老会（会長）	ぽかぽかランド美麻
17日	大町地区敬老会（会長）	文化会館
18日	第2回理事会（理事・監事）	総合福祉センター
21日	希望の旅（会長）	上越市
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	市民ふれあい広場実行委員会（会長）	//
27日	第2回評議員会（正副会長・常務理事）	//
29日	あい・アドバンス今井祭/共立祭（会長）	あい・アドバンス今井
10月1日	長野県同和教育研究大会（副会長）	塩尻市
2日	産業医職場巡視（常務理事）	美麻総合福祉センター
3日	八坂地区敬老会（会長）	明日香荘
6日	2018市民ふれあい広場	文化会館
9日	三役会（正副会長・常務理事） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター // ひなたぼっこ
10日	大町アルプスマラソン実行委員会（会長）	市役所
16日	車いす贈呈式（会長） 人権教育推進協議会等合同視察研修会（副会長）	県社会福祉協議会 山梨県北杜市
18日	大町市老人体育祭（正副会長）	市運動公園
19日	人権を考える市民の集い（副会長）	南小学校
21日	大町アルプスマラソン開会宣言式（会長）	市運動公園
22日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター

期 日	内 容	会 場
30日	産業医職場巡視（常務理事）	八坂総合福祉センター
11月2日	平成31年度補助・受託事業予算ヒアリング（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
6日	大町市民生委員推薦会（会長）	市役所
9日	人権を考える市民の集い（副会長）	東小学校
10日	長野県青少年健全育成県民大会（会長）	諏訪市文化センター
12日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 平成30年度中間監査（監事）	総合福祉センター //
13日	大町市戦没者追悼式（会長） 大町市国民健康保険運営協議会（会長） 大町市総合計画審議会（副会長）	大町公民館分室 市役所 市役所
14日	中信社会福祉協会評議員会（会長） 学校人権教育 公開授業・懇親会（副会長）	松本市梓川支所 北小学校・八坂小学校
15日	少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所
19日	三役会（正副会長・常務理事） 大北社会福祉事業協会 理事会（会長）	総合福祉センター 北アルプス市町村会館
20日	産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター
26日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	//
27日	所属長会議（常務理事）	//
29日	難病支援関係者研修会（会長）	大町合庁
12月3日	人権・同和教育推進懇談会事業研修会（副会長）	常盤公民館
11日	三役会（正副会長・常務理事） 産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター 美麻総合福祉センター
17日	大町市総合計画審議会（副会長）	市役所
18日	北アルプス国際芸術祭実行委員会臨時総会（会長）	//
19日	第3回理事会（理事・監事）	総合福祉センター
21日	長野県部落解放研修集会（副会長）	ホクト文化ホール
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	所属長会議（常務理事）	//
28日	仕事納めの式（会長）	//
29日	公衆浴場臨時営業（～30日） 介護保険外自主事業入浴サービス	// こすもす、みさか
30日	介護保険外自主事業入浴サービス	ひなたぼっこ、みあさ
1月3日	公衆浴場臨時営業・おしるこ振る舞い	総合福祉センター
4日	仕事始め式（会長）	//
6日	折弁カラオケ大会グランドチャンピオン大会（会長）	文化会館
10日	三役会（正副会長・常務理事） 平成31年度自主事業予算ヒアリング（正副会長・常務理事）	総合福祉センター //
11日	新春賀詞交歓会（正副会長）	黒部観光ホテル
19日	人権教育講演会（副会長）	常盤公民館
21日	長野県社会福祉協議会評議員会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	県社会福祉総合センター 総合福祉センター
22日	所属長会議（常務理事）	//
23日	大町市子ども・子育て審議会（会長）	市役所
27日	職員採用1次試験（常務理事）	総合福祉センター
2月9日	大町市社会福祉大会	サン・アルプス大町
10日	職員採用2次試験（正副会長・常務理事）	総合福祉センター

期 日	内 容	会 場
2月12日	三役会（正副会長・常務理事） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター //
14日	大町市子ども・子育て審議会（会長）	市役所
15日	青少年育成市民会議常任理事会（会長） アルプスマラソン実行委員会（会長）	市役所 //
17日	移住者交流会（副会長）	大町公民館
19日	心配ごと相談所等相談員研修会（常務理事）	浅間温泉文化センター
22日	大北社会福祉事業協会理事会（会長） 民生児童委員協議会全体研修・新年会（会長）	北アルプス市町村会館 フレンドプラザ大町
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	所属長会議（常務理事）	//
3月1日	職員採用1次試験（常務理事）	//
2日	豊かな老後のための平地区市民の集い（会長）	平公民館
4日	大町市健康づくり推進委員会（会長）	中央保健センター
5日	三役会（正副会長・常務理事） 職員採用2次試験（正副会長・常務理事）	総合福祉センター //
6日	市町村共同募金委員会事務局長会議（常務理事）	キッセイ文化ホール
7日	市共同募金委員会審査委員会（会長）	総合福祉センター
9日	長野県護国神社評議員会（会長）	長野県護国神社
13日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
14日	大北社会福祉事業協会 評議員会（会長）	北アルプス町村会館
15日	第4回理事会（理事・監事）	総合福祉センター
19日	社会福祉法人指導監査	//
20日	空家等対策協議会（会長） 長野県社会福祉協議会評議員会（会長） 少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所 県総合福祉センター 市役所
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 大北地域包括医療協議会理事会・幹事会（会長）	総合福祉センター 大北医師会館
26日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
27日	第3回評議員会（正副会長・常務理事）	//
28日	中信社会福祉協会評議員会（会長）	松本市梓川支所
29日	退職職員送別式（会長）	総合福祉センター



公衆浴場臨時営業・おしるこ振る舞い（1/3）



河合まこと展（10/22～26）  
市総合福祉センターエントランスホール

## ■ 寄付採納

### ① 寄付者一覧（寄付金）

寄せられた寄付金は、ボランティア基金に積立て、ボランティアセンター運営委員会で用途を協議のうえ取崩し、寄付者の意向を尊重しながら有効活用を図っています。

期 日	寄付者（敬称略）	金額（円）
5月 3日	大町ソフトボール連盟	47,600
6月 20日	未来の会（相生町ネットワーク）	30,000
6月 21日	昭和電工(株)大町事業所	84,000
7月 2日	大町岳陽高校生徒会	10,000
8月 7日	田代靖尚(故逸見睦子氏遺言執行者)	1,500,000
9月 4日	大町市元市議会議員の会	50,000
10月 11日	陶芸の家	10,000
	大北建設労働組合	6,200
11月 2日	平ソフトボール連盟	30,000
11月 8日	相生町長生会	12,371
11月 15日	十日町十日会	10,000
11月 29日	ろうきん大町支店運営委員会	25,650
12月 6日	大町市女性団体連絡協議会	27,973
	匿名	1,120
12月 12日	よってって鮎貝	7,216
	日本禁煙友愛会大町支部	20,000
	老松	6,000
12月 21日	大町市老人クラブ連合会	60,000
1月 15日	大町市婦人会	10,000
1月 22日	新しい編み物サークル	10,000
1月 23日	昭和電工ユニオン大町支部	40,597
2月 13日	88 ボランティア	10,000
2月 14日	匿名	1,422
2月 26日	大町青年会議所シニアクラブ	30,000
3月 5日	昭和電工(株)大町事業所	100,000
3月 14日	匿名	5,000
合 計		2,150,449



平ソフトボール連盟より（11/2）

## ② 寄付者一覧（物品）

寄付物品は本会の事業で活用したほか、食品や消耗品は管内の福祉施設に配布しました。

期 日	寄付者（敬称略）	物 品（数量等）
4月13日	渡邊 卓也	トレット・パー等
4月30日	匿名	下着一式
5月 8日	大北地区中央メーデー実行委員会	レトルト食品、缶詰他 146 個
6月21日	出張専門助産院ふーみん	デジタルベビースケール
6月30日	神栄町女性部	日用品多数
7月12日	(株)クマノ	ボールペン多数
7月13日	しおいり	服布地他多数
10月15日	匿名	米 60 kg
10月16日	一般社団法人生命保険協会長野県協会	介護用車いす 5 台
11月 9日	大町商工会議所女性部	レトルト食品ほか
11月20日	横川志げ子	ニットベスト5枚、着物2枚
12月 3日	降旗 章	りんご 20 箱
12月12日	信光実業(株)大町支店	カレンダー29本
12月14日	横澤善明	加湿器 1 台
12月25日	北澤学	門松 1 対
3月11日	恩田 豊	米 30 kg、玄米 30 kg



大町商工会議所女性部より 11/9



生命保険協会長野県協会より 10/16

## ■ 主要事業の実績

### I 地域福祉推進基盤の強化

地域で活躍する関係者の参加と協働の下、法人運営基盤の強化、地域福祉活動の財源確保、災害時支援体制の強化、生活課題の調査・研究、公益事業の推進に取り組み、地域福祉推進基盤の強化に努めました。

#### 1. 法人運営基盤の強化

地域福祉を推進する中核組織として、安定した法人運営に努めるとともに、各積立金を活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備等に努めました。

##### (1) 法人運営事業

社会福祉法人制度改革に適切に対応しながら、経営管理・内部統制・苦情解決機能の強化に取り組みました。

項 目	実施結果・内容
地域社会の情勢に応じた会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月第2火曜日を基本に三役会を開催</li> <li>○ 毎月第4火曜日を基本に所属長会議を開催</li> <li>○ 理事会を4回、評議員会を3回開催（詳細別記）</li> <li>○ 評議員選任・解任委員会を1回開催</li> </ul>
経営管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月の所属長会議内で経営戦略会議を開催し、経営状況を把握</li> <li>○ 税理士による経営研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 8月1日 三役・監事・所属長23名参加</li> </ul> </li> <li>○ 全職員対象の交通安全研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 8月7日 講師：大町警察署 交通課 竹澤係長</li> </ul> </li> </ul>
内部統制機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期監査を実施（詳細別記）</li> <li>○ 毎月の所属長会議内で安全衛生委員会を開催（詳細別記）</li> <li>○ 事業報告・決算書、事業計画・予算書をホームページで公開</li> <li>○ 個人情報・特定個人情報保護規程に基づき、情報管理を徹底</li> </ul>
働きやすい魅力的な労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無期契約転換申出への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定様式を作成、所属長会議等へ周知の上希望者への対応を実施</li> </ul> </li> <li>○ 働き方関連法への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>所属長への周知を実施</li> </ul> </li> </ul>
大北地域内の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大北ブロック社協事務局長会議を開催 7月19日</li> <li>○ 大北ブロック社協職員研修に参加 9月21日…白馬村</li> <li>○ 大北圏域の事業者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大北圏域介護保険事業者連絡協議会の事務局運営</li> <li>◆ 大北保健福祉圏域自立支援協議会の事務局運営</li> </ul> </li> </ul>
福祉人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員の募集を行い、新たに3名の正規職員を採用（居宅介護支援事業所1名、通所事業（こすもす）1名、療育支援事業1名）</li> </ul>
苦情解決機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各事業所に苦情受付者を設置し、第三者委員を設置</li> <li>○ 苦情を受け、記録し業務改善に反映</li> </ul>

● 理事会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	6月12日	議案	第1号 平成29年度事業報告について 第2号 平成29年度決算について 第3号 評議員候補者の推薦について 第4号 評議員選任・解任委員会の招集について 第5号 平成30年度第一回評議員会の招集及び議題について
第2回	9月18日	議案	第6号 平成30年度第一次補正予算について 第7号 小口資金貸付欠損処分について 第8号 平成30年度第二回評議員会の招集及び議題について
		報告	第1回評議員選任・解任委員会の結果について
第3回	12月19日	協議	第1号 平成30年度社会福祉功労者表彰について
第4回	3月15日	議案	第9号 平成30年度第二次補正予算について 第10号 平成31年度事業計画について 第11号 平成31年度予算について 第12号 平成30年度第三回評議員会の招集及び議題について

● 評議員会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	6月29日	議案	第1号 平成29年度事業報告について 第2号 平成29年度決算について
第2回	9月27日	議案	第3号 平成30年度第一次補正予算について
第3回	3月27日	議案	第4号 平成30年度第二次補正予算について 第5号 平成31年度事業計画について 第6号 平成31年度予算について 第7号 理事の選任について

● 定期監査の実施状況

期 日	指摘事項等	改善事項等
平成29年度 決算監査 5月28日	13カ月予算を分かりやすく	会計上別科目での処理はできないが、12カ月の場合の収支についても資料作成に努める。
	徴収不能引当金の管理徹底	引き続き督促を進めるとともに、宛先不明については欠損処分の検討
	民間の助成制度の活用を	情報収集するとともに、全部署への周知を徹底
平成30年度 中間監査 11月12日	現金で受領する場合、書き損じの領収書を処分せず保管を	該当業務担当者へ徹底
	働き方改革関連法への対応を	所属長会議での周知徹底及び、有給休暇・超過勤務の管理に努める。

● 安全衛生委員会の開催状況

期 日	内 容
4月24日	H30安全衛生管理体制、職員定期健康診断
5月22日	安全衛生チェックリスト、産業医職場巡視の計画
6月26日	交通事故発生状況
7月17日（総会）	H29事業報告、H30事業計画
7月24日	夏の交通安全運動 職員交通安全講習について
8月28日	事業所健康度診断カルテ
9月26日	秋の全国交通安全運動
10月23日	ストレスチェックの実施
11月27日	年末の交通安全運動、交通事故等報告
12月26日	冬季安全運転と労働災害、ストレスチェック結果通知
1月22日	健康診断実施状況報告、交通事故等報告
2月26日	転倒災害プロジェクト重点取組期間
3月26日	春の全国交通安全運動

【評価と展望】

- 昨年に引き続き、三役・監事・所属長を対象とした経営研修会を開催し、財務諸表の見方や活用方法等について顧問税理士に解説していただき、経営意識の向上を図った。
- 全職員を対象とした交通安全研修会を初めて開催し、交通安全意識の向上を図った。
- 消費税率改正に向け、税理士と新たに顧問契約を結び、適正な会計処理に加え、会計に関する制度改正等に備えた。
- 介護保険制度等各種制度の動向を把握する中での、経営戦略が必要。また、PC等の備品に加え、車両等の更新が必要であり、より計画的な設備整備を検討する必要がある。
- 職員研修会の内容について、慣例化するべきものとその時の状況に併せた研修内容の検討が必要。

（２）資産管理・退職共済・処遇改善事業

各積立金を有効活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備、地域福祉・生活支援活動の財源確保に努めました。

項 目	実施結果・内容
福祉人材の確保 （人件費等積立金取崩：8,547千円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 役職員研修の実施（詳細別記） …充当額 176千円</li> <li>○ 役職員福利厚生事業の実施（内訳別記） …充当額2,365千円</li> <li>○ 非正規職員の処遇改善補填（詳細別記） …充当額1,774千円</li> <li>○ 正規職員の退職共済掛金補填 …充当額2,679千円</li> <li>○ 介護保険・障害福祉サービス事業人件費補填 …充当額1,553千円</li> </ul>
計画的な設備整備 （施設整備等積立金取崩：5,819千円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 寄付財源車両購入補填額 …充当額 50千円</li> <li>○ 焼いも機購入財源補填 …充当額 115千円</li> <li>○ 設備修繕及びリース料金等 …充当額5,654千円</li> </ul>
地域福祉・生活支援活動の財源確保 （地域福祉活動費等積立金取崩：5,686千円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふれあい福祉センター運営事業財源不足補填 …充当額 44千円</li> <li>○ ボランティアセンター運営事業財源不足補填 …充当額3,456千円</li> <li>○ 日常生活自立支援事業財源不足補填 …充当額 875千円</li> <li>○ 資金貸付事業財源不足補填 …充当額1,311千円</li> </ul>

● 役職員研修の実施状況

期 日	内 容	会 場
5月26日・7月28日 8月28日	有機ケール栽培、自主製品開発（障害福祉2人）	山梨県
6月19日	地域福祉コーディネーター養成研修（総務企画1人）	浅間温泉文化センター
7月30日・31日	障がい者相談支援従事者専門分野研修（障害福祉1人）	岡谷総合福祉センター
8月3日	平成30年度長野県経営協セミナー（総務企画1人）	長野市若里市民ホール
9月4日	地域福祉コーディネーター養成研修（総務企画1人）	松本商工会館
9月26日	信州暮らしの支え合いネットワーク全体会（総務企画1人）	県社会福祉総合センター
10月20日	全国ナイスハートバザール（障害福祉1人）	軽井沢プリンスホテル
11月20日	災害ボランティアセンター体制整備事業研修（総務企画1人）	飯山市
12月13日・14日	障がい者相談支援従事者初任者研修（障害福祉1人）	浅間温泉文化センター
1月29日・2月6日 2月7日・2月28日 3月1日	サービス管理責任者研修 児童発達支援管理責任者研修（障害福祉1人）	浅間温泉文化センター JA長野県ビル
3月20日	ワイン剪定講習会（障害福祉1人）	東御市

● 役職員福利厚生事業費の内訳

（単位：千円）

産業医	健康診断	ストレスチェック	予防接種	制服貸与	共済会補助	慶弔見舞金
300	903	93	378	168	252	236

● 定期健康診断等の実施状況

実施方法	個別健診	集団健診	ストレスチェック
対 象 者	35歳以上で健康保険に加入している職員	週労働時間20時間以上で、個別健診の対象とならない職員	所定労働時間が週平均20時間以上の職員
期 日	8月～11月の指定日	7/30	11月
実施場所	市立大町総合病院	総合福祉センター	市立大町総合病院
受診者数	97人	29人	125人

● 産業医の職場巡視の実績

事 業 場	総合福祉センター	八坂総合福祉センター	美麻総合福祉センター	デイサービスセンター ひなたぼっこ
期 日	9/11・11/20	8/21・10/30	10/2・12/11	7/31・10/9

● 勤続手当・処遇改善手当の支給実績

名 称	勤続手当	処遇改善手当
算定方法	4月1日現在の勤続年数に応じた月額 （1年：250円、2年：500円、3年：1,000円、以後1年につき1,000円ずつ加算、最高8,000円）	介護報酬及び自立支援給付費の半期ごとの処遇改善加算額を、対象職員の労働時間に応じて配分 介護職員：6月154円・12月146円/時 その他職員：6月39円・12月37円/時
支給対象者	勤続1年以上の嘱託・臨時・非常勤職員	嘱託・臨時・非常勤・登録職員
支給時期	毎 月	6月・12月
支給実績	3,192,450円	17,168,900円

【評価と展望】

- 本年度 13 カ月予算とし会計処理を行い、増加した収支差額については、積立金の取崩額と同額積立とし、4 月以降の支払資金確保を行った。今後も制度改定による収益減少が見込まれることから、所属長会議等を通じ相互の情報共有と意識の統一を図る中で、収入の確保に努めるとともに、経費節減策を講じていく。
- 産業医の職場巡視や職員の定期健康診断、ストレスチェックを定期的の実施し、日常からの職員の健康管理や職場環境の整備に努めた。また、健康診断対象者をデイサービス等の登録運転手にも拡大し、安全衛生に努めた。
- 積極的に内外研修に参加することで、職員研修の充実を図った。

### (3) 災害時支援体制の強化

市内における団体連携を考えるとともに、意識啓発として新たな住民向け講座の開設し、住民相互の協力体制を強化するとともに、県内での支援体制についても強化することができました。

項 目	実施結果・内容
災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練	<p>大田市地震総合防災訓練に合わせ、マニュアルに基づく訓練を実施し、また研修会を開催</p> <p>○実施日 8月25日</p> <p>○対象者 所属長並びに正規職員</p> <p>○内 容 ①訓練 市防災訓練の発報（メール及び防災無線による）に合わせ初動マニュアルに基づく参集訓練、施設点検訓練</p> <p>②研修 災害発生時の被災地社協の動きについて研修</p> <p>・講師 長野県社協 山崎主任</p>
DSAT（ディーサット）への参加	<p>DSATの運営内容について大幅な見直しがされ、メンバーを第1～3層に分けて、養成していくこととなった。</p> <p>◆災害ボランティア図上訓練参加</p> <p>○参加日 10月11日 ○会 場 松本大学</p> <p>○講師 NPO法人さくらネット代表理事 石井布紀子 氏</p> <p>◆災害ボランティアセンター体制整備事業研修</p> <p>○開催日 1月31日 ○会 場 大田市総合福祉センター大会議室</p> <p>○講 師 NPO法人さくらネット代表理事 石井布紀子 氏</p>
災害時連携研修会の開催	<p>地区ごとに、防災関係団体相互の連携を深め考える機会として八坂・美麻地区にて開催を予定していたが、住民参加による防災訓練等開催があり、開催を見送り。次年度開催を検討</p>
災害サポーター養成講座	<p>地域防災の大切さについて、理解者を増やすことを目的に災害サポーター養成講座を開設。地域からの要請により職員派遣。</p> <p>◆開催日及び開催地区等</p> <p>○5/27 須沼自治会（50名） ○6/9 東若宮町自治会（20名）</p> <p>○7/7 松原団地自治会（7名） ○10/7 八日町自治会（30名）</p> <p>○10/12 平公民館カラオケクラブ（11名）</p> <p>○10/20 上一自治会（60名）</p>

● 義援金の募集・送金状況

募集期間	当年度送金額 (円)	義援金の内容
H28.4.15～R2.3.31	10,333	熊本県地震災害義援金（熊本県のみ）
H30.9.12～R1.9.30	119,393	平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
H30.7.11～30.12.31	61,999	平成30年7月豪雨災害義援金
継続募集中～R2.3.31	13,961	東日本大震災義援金
合 計	205,686	

【評価と展望】

- 職員招集訓練については、年1回ではあるが、継続し行うことにより、社協職員として災害時の対応について意識が育ってきている。
- DSAT 災害ボランティアセンター体制整備事業研修では、BCP に関する研修を初開催し、発災時、発災後の事業継続について意識統一ができた。
- 災害サポーター養成講座について、連合自治会等にて周知活動を実施。多くの自治会にて研修会の開催ができた。

## 2. 地域福祉活動の財源確保

地域内の生活課題に取り組む住民主体の活動を支援するため、必要となる財源の確保に取り組みました。社協会員組織の強化と、赤い羽根共同募金運動を推進しました。

### （1）会員組織強化事業

社協会費の使途を分かりやすく広報し、会員組織の強化を図りました。会費は、ボランティア団体や地区社協・小地域福祉ネットワークの活動助成など、地域福祉の推進に活用しました。

項 目	実施結果・内容
一般会員の募集	○ 一般会員（1世帯当たり年額600円）：7,400世帯を目標に、4～5月、自治会長等に納入依頼文・チラシを送付し、協力を依頼
特別会員の募集	○ 特別会員（1人当たり年額3,000円）：690人を目標に、7～8月、前年度会員等に納入依頼文・チラシを送付し、民生委員に取りまとめの協力を依頼
法人会員の募集	○ 法人会員（1団体当たり年額5,000円）：30法人を目標に9月に職員が直接訪問し、協力を依頼
会員の確保	○ 「社協おおまち」に一般会員・法人会員募集について掲載 ○ 「社協おおまち」に特別会員名簿・法人会員名簿を掲載 ○ 自治会未加入の約800世帯に納入依頼文・社協の活動内容を掲載したチラシを送付し、会員確保に努めた

● 年度別会員別会費集計表（過去5ヵ年）

（金額の単位：円）

年度	一般会員（一般会費）			特別会員（特別会費）			法人会員（法人会費）	
	世帯数	金 額	前年比	人数	金額	前年比	団体	金額
H26	7,673	4,603,800	99.1%	771	2,313,000	100.7%		
H27	7,602	4,561,200	99.1%	759	2,277,000	98.4%		
H28	7,535	4,521,000	99.1%	732	2,196,000	96.4%		
H29	7,384	4,430,400	98.0%	681	2,043,000	93.0%	14	70,000
H30	7,324	4,394,400	99.1%	652	1,956,000	95.7%	17	85,000

【評価と展望】

- 昨年より開始した法人会員については、昨年より会員を増やすことができた。引き続き社協職員が直接協力を依頼するとともに振込依頼書を活用することで会員確保に努める。
- 市の人口の減少や自治会未加入者の増加、全国的な寄付意識の変化に伴い会費は減少傾向にあるが、引き続き地域に根差した社協事業への理解と周知を図り会員確保に努める。

## (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

共同募金は、都道府県を単位とする共同募金会が実施主体となり、各市町村はその支部組織として活動を行っており、当市も含め大半の市町村では、社協で事務局を担っています。全国的に募金額が減少傾向となっているなか、寄付付き商品の販売や職域募金を行う等、募金活動を積極的に行いました。



項 目	実施結果・内容
前年度募金実績に基づく配分金事業の実施	○5月初旬に配分決定額である 7,307,888円（市社協分を含む）を各地区社協に配分した
目標額の設定と達成に向けた各種募金運動の実施	○6月に目標額を設定した。例年の募金活動に加え、昨年に引き続きふれあい広場で寄付付き商品としてフランクフルトの販売等を行った。その結果、目標額の約97%である8,810,431円の募金を得た
募金目標額を達成するための運動	○広報啓発として、募金期間中2度市内スーパーにて街頭募金を実施
公募配分事業	○8団体より申請があり、配分決定を行った

### ● 募金実績の推移

(単位:円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
募金目標額	9,688,000	9,656,000	9,543,000	9,236,000	9,069,000
募金実績額	9,690,562	9,520,011	9,134,658	8,954,888	8,810,431

### ● 平成30年度共同募金配分金の内訳

(単位:円)

配分先		高齢者 福祉活動	障害児・者 福祉活動	児童・青少年 福祉活動	住民全般 福祉活動	合 計
地区社協分	大町地区	543,695	50,000	240,000	580,000	1,413,695
	平地区	155,000	40,000	180,000	570,276	945,276
	常盤地区	346,610	30,000	540,000	380,000	1,296,610
	社地区	295,814	10,000	30,000	150,000	485,814
	八坂地区	200,000	10,000	40,000	64,800	304,800
	美麻地区	70,000	10,000	40,000	56,626	176,626
	計	1,611,119	140,000	1,070,000	1,801,702	4,622,821
市社協分		255,256	525,636	0	1,904,175	2,685,067
合 計		1,866,375	665,636	1,070,000	3,705,877	7,307,888

● 平成 30 年度市社協配分金事業の内訳

(単位：円)

事業名	配分金額	事業名	配分金額
福祉団体助成事業	285,000	福祉輸送サービス事業	481,578
市民ふれあい広場開催事業	500,000	心配ごと相談事業	79,864
社協報発行事業	984,311	災害見舞金等給付事業	65,000
希望の旅事業	289,314		
合 計			2,685,067

【評価と展望】

- 昨年に引き続き、公募による申請の受付を行った。公募形式を広く住民に周知し、新たな申請団体の増加に努める。
- ふれあい広場で寄付付き商品としてフランクフルトを販売し、募金活動を行った。
- 全国的に共同募金の額は減少傾向にあるが、募金が何に使われているのか積極的に発信することで、共同募金に少しでも関心を持ってもらうよう努めていく。

### 3. 公益事業の推進（指定管理施設の管理運営等）

指定管理施設の経営方針「誰もが安心して利用できる地域に根差した良質な施設経営」に従い、総合福祉センター3施設を管理・運営しました。

項 目	実施内容・結果
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設備の定期点検・保守点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 灯油地下タンク気密試験（大町・八坂・美麻各1回）</li> <li>◆ 防災・防災設備点検（3施設各2回）</li> <li>◆ 電気設備点検（大町・美麻各6回 ※八坂は支所で実施）</li> <li>◆ 給排水・空調設備点検（3施設各2回）</li> <li>◆ 自動ドア点検（3施設各3回）</li> <li>◆ エレベータ点検（大町4回 ※遠隔点検は毎月）</li> </ul> </li> <li>○ 日常清掃（通年）、特殊清掃（大町2回、八坂・美麻各1回）を実施</li> <li>○ 建物・設備の破損・故障に迅速に対応し、計画的に整備（内訳別記）</li> <li>○ 大町市に次年度以降3カ年の整備要望書を提出</li> <li>○ 給湯設備ろ過機ポンプ及び紫外線ランプ交換（大町）</li> <li>○ 空調設備コンプレッサー交換（大町）</li> <li>○ 公衆浴場男湯サウナ室壁面、扉修繕（大町）</li> <li>○ エコキュート保守点検導入（大町）</li> <li>○ 経年劣化によるろ過タンクの交換（美麻）</li> </ul>
利用者ニーズの把握とサービスへの反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大町市総合福祉センター運営懇話会を開催（7月31日） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 前年度利用状況・事故発生状況・施設整備状況の報告</li> <li>◆ 施設の利用促進について ほか</li> </ul> </li> <li>○ 利用者の声（意見箱）や管理日誌で意見・要望を把握し、随時対応</li> <li>○ 自主事業の実施や施設整備等について、市と随時協議</li> </ul>
施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公衆浴場無料開放デーの設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子どもの日（5月5日 163人）</li> <li>◆ 敬老の日前日（9月16日 157人）</li> </ul> </li> <li>○ 年末年始の公衆浴場臨時営業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 12月29日（10:00～17:00 71人）</li> <li>◆ 12月30日（10:00～17:00 81人）</li> <li>◆ 1月3日（13:00～17:00 80人）※おしるこ振る舞い</li> </ul> </li> </ul>

項 目	実施内容・結果
施設サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5～10月第1金曜日に全職員による環境美化・緑化活動を実施</li> <li>○ 館内を禁煙とし、屋外に喫煙所を設置して分煙を徹底</li> <li>○ 前年度繰越金等を財源とした施設整備を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3階フロア照明をLED化（大町）</li> <li>◆ デイサービスフロア照明をLED化（美麻）</li> </ul> </li> <li>○ 浴室・トイレ等緊急呼出装置の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 経年劣化による呼出装置の全館更新（市直営）</li> </ul> </li> <li>○ 専門業者による浴室内特殊清掃の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 例年、年2回の専門業者による館内特殊清掃に加え、浴室内の清掃を実施。</li> </ul> </li> </ul>
その他施設の利活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エントランスホールの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子供服等のリユースコーナー「コアラのぽっけ」を常設（平日）</li> <li>◆ セタコンサートを開催（7月9日）</li> <li>◆ ハピたび音仲間コンサート（8月19日）</li> <li>◆ 河合まこと展の実施（10月15日～21日）</li> <li>◆ 絵画や短歌等、市民の作品を随時展示</li> </ul> </li> <li>○ 山の子村キャンプ参加者への公衆浴場解放 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 8月5日 福島県からの参加児童24人</li> </ul> </li> <li>○ 大町アルプスマラソン参加者公衆浴場割引 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 10月21日 総入浴者数117人</li> </ul> </li> <li>○ 美麻ふれあいまつりの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 8月18日 参加者174人</li> </ul> </li> </ul>
その他施設の利活用等	

● 各施設の利用状況

施設名	項 目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	311 日	延べ 24,486 人（91.6 人／日）
	会議室等貸館	358 日	延べ 1,894 団体（5.3 団体／日） 延べ 17,311 人（48.4 人／日）
八坂総合福祉センター	デイサービス	256 日	延べ 4,117 人（16.1 人／日）
美麻総合福祉センター	デイサービス	256 日	延べ 4,922 人（19.2 人／日）
	会議室等貸館	244 日	延べ 80 団体（0.3 団体／日） 延べ 1,218 人（5.0 人／日）

● 公衆浴場利用状況の推移（大町）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
一 般（人）	7,102	6,849	7,180	6,895	6,098
65 歳以上（人）	19,310	19,164	20,619	20,479	19,799
障がい者（人）	1,844	2,199	2,266	2,008	1,697
小中学生（人）	906	1,016	1,137	1,022	834
優待券等（人）	140	128	104	126	58
合 計（人）	29,302	29,356	31,306	30,530	28,486
利用料収入（千円）	6,474	6,256	6,665	6,525	6,100

● 貸館利用状況の推移（大町）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
利用件数（団体）	1,988	2,042	2,108	1,939	1,894
利用人数（人）	20,293	19,306	20,938	18,103	17,311

● 電気料・燃料費の実績

(単位：千円)

施設	電気料			燃料費		
	H30	H29	増減	H30	H29	増減
大町	6,254	6,178	76	2,001	1,530	471
八坂	255	259	▲4	71	85	▲14
美麻	1,520	1,397	123	373	326	47
合計	8,029	7,834	195	2,445	1,941	504

● 各施設の設備・備品等修繕実施状況

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用(円)
	作業棟空調設備不良	冷却水弁交換	72,900
	デイこすもす洗面所水栓水漏れ	部品交換	18,360
	デイこすもすコンセント破損	機器交換	6,730
	灯油地下タンクサービスタンク劣化	部品交換	39,960
	会議室ブラインドコード破損	部品交換	23,760
	トイレウォシュレット水漏れ 2箇所	機器交換	226,800
	公衆浴場ウォータークーラー不良	部品交換	45,360
	2階トイレ男性用小便器センサー不良	部品交換	76,680
大町	誘導灯、自動火災通報機バッテリー不良	部品交換	31,752
	オストメイトトイレ水漏れ	部品交換	29,160
	公衆浴場水栓水漏れ	部品交換	24,408
	3階フロアコンセント破損	部品交換	14,580
	作業棟ドアクローザー不良	部品交換	32,400
	たんぼぼトイレ・浴室手摺不良	部品交換	14,610
	男湯サウナ室壁・ドア腐食	部品交換	116,229
	エコキュート動作不良	部品交換	116,640
	公衆浴場換気扇開閉不良	本体交換	150,336
	自動ドア消耗品不良	部品交換	8,640
	センター排水詰まり	状態改善修繕	7,452
	デイ給湯設備不良	シッポヒーター交換	61,560
	塩素薬注ポンプ不良	注入器弁交換	53,676
八坂	デイサービスフロア照明不良	部品交換	30,628
	シャワー、トイレ水栓不良	部品交換	172,800
美麻	トイレ水漏れ	部品交換	13,500
	ナースコール不良	機器交換	89,640
	浴室、厨房配管水漏れ	部品交換	49,680
	自動ドア消耗品劣化	部品交換	25,920
	誘導灯予備電源不良	部品交換	8,640
	特浴ミキシングカート不良	カート更新	66,852
	浴室シャワー不良(2箇所)	部品交換	97,200
合 計			1,726,853

● 各施設の設備・備品等整備実績

施設	整備箇所・内容	支出科目	費用(円)
大町	3階フロア照明 LED 化	消耗器具備品費	610,416
美麻	デイフロア照明 LED 化	消耗器具備品費	317,476

【評価と展望】

- 29 年度からの繰越金を財源に、館内照明の LED 化を計画的に実施したことで、電力料値上りの影響を最小限に抑制することができた。
- 公衆浴場の利用者は、昨年度から減少に転じてきており、近隣からだけでなく遠方からお越しいただけるような新たな利用増加策を講じる必要がある。
- 施設の老朽化が進んでおり、経年劣化による修繕・改修が多くなっている。また、ボイラーなどの主要設備も年数が進んできていることから、市と密に連携し更新計画を進めていく必要がある。
- エントランスホールの利用が徐々に進んできている。子ども服リユース「コアラのぽっけ」も仕分けボランティア協力のもと定着してきている。
- 地域ボランティアと連携し高齢者や障がい者、保育園児、小中学生が気軽に集える交流活動の拠点としての役割を果たしていく。



はぴたび音仲間コンサート  
大町市総合福祉センター8/19



仁科台中学校ボランティア  
大町市総合福祉センター11/6

## Ⅱ お互いさまのまちづくり

お互いさまのまちづくりをめざして、地域の支え合い活動やボランティア活動支援と相互の連携強化を図りました。

### 1. 地域における支え合い活動の推進

地域にある生活課題の掘り起こしと助け合い活動の活性化のため、ご近所支え合い事業、小地域福祉ネットワーク事業、地区社協連携強化事業に取り組むとともに、市民ふれあい広場を開催しました。

#### (1) 地域ふれあい交流事業

市内では、すでに住民主体による地域活動が各所で開催されています。それらの地域の資源を皆で共有することが必要であり、地域への訪問活動と情報発信を行いました。

項 目	実施結果・内容
交流会(サロン)の開催状況把握と活動支援	◆サロン等への訪問活動
	<南部エリア>
	小地域福祉ネットワーク 3回 (中松原/清水/須沼)
	自主活動団体 6回 (西山/泉/西村/清水/西松原/下一)
	その他 2回 (ゆずり葉の会/上一健康体操の会)
	<北部エリア>
	小地域福祉ネットワーク 1回 (東中原)
	自主活動団体 2回 (俵町2/
	その他 2回 (宮田町/花見)
	<中央エリア>
	小地域福祉ネットワーク 10回 (東町/高根町/十日町3/北原町2/堀六日町/旭町2)
	その他 5回 (神栄町3/大新田町/五日町)

#### 【評価と展望】

- 小地域福祉ネットワークなど、以前より継続して活動している団体もある中で、新規に活動する団体が増えてきている。一方、担い手不足等により活動の継続が困難となってきた団体もある。引き続き、地域活動がなぜ必要かを地域の皆さんと一緒に考え、その時々にあった仕組みややり方を考えて呼びかけていく。

## (2) 住民支え合いマップ事業

日頃からの地域住民による支え合いが災害時への大きな備えとなることから、防災意識の向上と住民自らが課題を把握しその課題に向き合うことを目的とした「支え合いマップづくり」を他の事業と併せ推進しました。

項 目	実施結果・内容
自治会等への説明会及び作成支援	≪集会等でのマップ推進活動≫ ◆災害サポーター養成講座と併せ、地域防災を進める手法の一つとして支え合いマップを紹介し推進した。 (開催地区) ※再掲 ○5/27 須沼自治会 (50名) ○6/9 東若宮町自治会 (20名) ○7/7 松原団地自治会 (7名) ○10/7 八日町自治会 (30名) ○10/12 平公民館カラオケクラブ (11名) ○10/20 上一自治会 (60名)
	≪自治会でのマップ作成支援≫ ◆マップ作成済み自治会に対しての更新作業支援 ○常盤地区 上一自治会 ○社地区 宮本自治会

### ● マップ作成自治会数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
マップ作成自治会数	19	23	23	23	23

#### 【評価と展望】

- マップ作成は目的ではなく手段。目的化してしまうことを防ぐためにも、「災害サポーター養成講座」等で地域防災の意識啓発を進めていくことが重要。
- 支え合いマップは災害への対応手段の一つとして考えられているが、あくまでも地域の状況を把握し課題を発見することが、地域福祉の推進につながりひいては、災害にも強い地域づくりとなる。この目的を更に地域に浸透させていきたい。

## (3) 小地域福祉ネットワーク事業

既存のネットワークを対象とした研修会を開催するとともに、各ネットワークへの訪問活動を行い、活動内容と課題の把握に努めました。

項 目	実施結果・内容
小地域福祉ネットワーク研修会	◆開催日：3月28日 ◆会場：大町市総合福祉センター ◆参加者：32名 ◆内 容：講演：住み慣れた地域で暮らし続けるということ 講師：中条地区住民自治協議会 地域福祉コーディネーター 黒岩秀美 氏 事例検討 あなたの地域のこんな時どうする？！
ネットワーク訪問活動	ネットワーク活動の把握に併せ、買い物サポート事業や「安心くらしのもちもちサービス」について周知した ◆ 訪問日及び訪問先 東町 (6/17)、東中原町 (7/8)、高根町 (7/8)、中松原 (7/11) 清水 (9/11)、十日町 (9/19・11/21・3/30)、北原町 (11/7・12/9)、堀六日町 (11/22)、旭町 (12/9・1/26)、須沼 (3/17)、五日町 (3/30)

● ネットワーク数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
ネットワーク数	46	46	46	45	44

【評価と展望】

- 生活支援体制整備事業の取組と合わせ、地域住民と一緒に地域資源の把握を行った。
- 「もちもちサービス」のニーズが寄せられた際は、ネットワークを中心に担い手の相談を行い、ニーズ解決に結びついた。
- 小地域福祉ネットワークは、本会とともに長年地域福祉について活動やその内容について共有してきている。

#### (4) 地区社協事業

市内6地区に地区社協が組織され、各地区ごと特色のある事業を展開しました。各地区社協の活動の支援、事業の周知を行いました。

項 目	実施結果・内容
地区社協との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大町地区、八坂地区、美麻地区の事務局を担当。</li> <li>○広報誌等による地区社協ごとの事業の紹介をした。</li> <li>○共同募金、地区社協助成金等の交付で地区社協の事業を支援した。</li> </ul>

【評価と展望】

- 社協報で地区社協が実施する共同募金を活用した事業の紹介をした。
- 介護保険制度改正により、地域ニーズに基づいた支援内容の検討がより重要となっている。地域ニーズの発掘と資源の開発等の業務への地区社協の関わりが課題となっている。
- 平、常盤、社地区では、公民館が地区社協事業を担当しているが、公民館活動は地域活動を支援する面からも重要であり、連携を深めていく。

#### (5) 市民ふれあい広場の開催

福祉、子育て、健康、生活環境など、さまざまな分野の参加団体からなる実行委員会を組織し、「市民ふれあい広場」を開催しました。模擬店やステージ発表など、盛りだくさんの催しを企画し、出会い・交流の場を提供しました。

項 目	実施結果・内容
○参加団体で構成する実行委員会による企画・準備（5～10月）	5月29日 第1回幹事会 7月13日 第1回実行委員会 9月26日 第2回実行委員会 10月5日 会場の前日準備 10月6日 市民ふれあい広場当日
○当日の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食べ物の振る舞いや販売、障害者施設やボランティア団体等の自主製品の販売など模擬店等が出店               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 参加団体：43団体、コーナー数：53コーナー</li> </ul> </li> <li>○ 特設ステージ               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ふれあいステージプログラム                    オープニングセレモニー/吉良健一朗さんと共同作業所のなかまたちコンサート//おおまぴょんのおお！マーチde体操/大町岳陽高校吹奏楽部/フィリピンダンス「サンバギータダンスグループ」/大町のおどり</li> </ul> </li> </ul>

● 参加団体数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
参加団体数	53	52	45	46	43

【評価と展望】

- 文化会館等の周辺施設の有効活用することで、テント数が減り経費減につながった。
- 参加団体はやや減少傾向にあるものの、市民活動サポートセンターや新たな団体の参加もあり各参加団体のPRや交流ができた。



吉良健一朗さんと共同作業所の  
なかまコンサート  
～ふれあいステージにて～



手品披露（市民サポートセンター）  
～屋内有効活用 文化会館視聴覚室～

## 2. ボランティア活動の推進

ボランティアセンターの活動や役割の周知を図り、ボランティア活動への理解促進と、活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

### （1）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター運営委員会の開催やボランティア保険手続き、備品貸出等により、ボランティア活動を支援しました。

項 目	実施結果・内容
相談・登録・ニーズ把握・コーディネーター機能の充実	○ ボランティアに関する相談、連絡調整、ボランティア登録を実施 ◆ 登録状況 ボランティア団体 105団体 6,871人 小地域福祉ネットワーク 45団体 2,738人
ボランティアセンター運営委員会の開催	○ ボランティアセンターの適正な運営を図るため、運営委員会を開催 ◆ 第1回 8月24日 11人出席 内 容 平成29年度の取り組み、平成30年度事業報告 ボランティア基金の活用について ◆ 第2回 2月22日 9人出席 内 容 平成30年度事業報告、ボランティア基金の活用 平成31年度事業計画について

個人・団体への各種 備品の貸出	○ 備品の貸出実績（別表参照） ○ 機材使用実績 <table><tr><td>コピー機</td><td>団体数</td><td>19 団体</td><td>白</td><td>4,009 枚</td><td>カラー</td><td>1,201 枚</td></tr><tr><td>パソコン</td><td>団体数</td><td>4 団体</td><td>延べ</td><td>25 回</td><td></td><td></td></tr></table>	コピー機	団体数	19 団体	白	4,009 枚	カラー	1,201 枚	パソコン	団体数	4 団体	延べ	25 回		
コピー機	団体数	19 団体	白	4,009 枚	カラー	1,201 枚									
パソコン	団体数	4 団体	延べ	25 回											
貸出備品整備	○ ボランティア基金を財源として、高齢者疑似体験つくし君 6 セット、デジタルベビースケール「べびすけくん」 1 台を購入整備した。														
ボランティアに関 する各種保険窓口 業務	○ボランティア活動保険加入状況 A プラン 1,423 人 B プラン 490 人 天災 A プラン 1 人 ○ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償保険等各種保険加入の 窓口業務実施														
ボランティアニュ ースの発行	○年6回発行（奇数月）全戸、市内小中高校、NPO法人配布 9,400部														
ボランティア研修 会の開催	○ボランティアリーダー研修会の開催 ・開催日 3月8日 ・場 所 大田市総合福祉センター大会議室 ・内 容 レクリエーション講習会 講師 種山正子氏 レクリエーションインストラクター ○大北ボランティア地域活動フォーラム参加 開催に向けた実行委員会3回開催 反省会 1 回開催 ・開催日 10月19日 ・場 所 白馬村多目的ホール ・内 容 内容「居場所づくりを考えよう ～多世代交流で暮らしやすい地域をめざして～」														

● ボランティア登録団体数の推移 (単位：団体)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
登録団体数	88	98	100	105	105

● 備品の貸出実績内訳 (単位：件)

品名	車いす	体験用車いす	高齢者疑似体験	シルバーカー	点字器	アイマスク
件数	255	27	12	0	98	95
品名	プロジェクター	スクリーン	テント	ワイヤレスマイク	ポットコーン製造機	綿菓子製造機
件数	120	12	1	7	4	9
品名	ポッチャ	カーレット	ゲーム用品	暗幕	小銭計数機	ジンリキ
件数	32	29	20	3	2	6
品名	白杖	ふれあいの箱	ポータブルトイレ	マグネット吹き矢		
件数	6	0	2	12		

● ボランティアニュースの発行内容

号 数	発行日	主な記事
185号	5月1日	ボランティア活動助成金紹介/ボランティアセンター紹介 ボランティア団体登録と助成金の申請について
186号	7月1日	希望の旅参加者募集/七夕コンサート開催 お出掛けボランティア講座参加者募集/共同募金公募配分事業開始
187号	9月1日	信州花フェスタ2019ボランティア募集 「君の笑顔に会いたくて」上映会案内

188号	11月1日	福祉啓発標語募集/県社会福祉大会表彰者紹介 市民ふれあい広場報告とお礼
189号	1月1日	大町市社会福祉大会開催/大北ボランティア地域活動フォーラム報告 ボランティアリーダー研修会開催
190号	3月1日	福祉啓発標語入選者発表 ボランティア保険のご案内/知って得する社協の講座参加者募集

【評価と展望】

- ボランティアセンター運営委員会の定期開催により、ボランティア基金の活用方法やボランティア事業についての詳細な検討と事業実施ができた。
- 引き続きボランティアに関する相談や調整業務の強化、地域への情報発信に努め、身近で相談しやすいボランティアセンター運営を行う。

## (2) 有償ボランティア事業

項 目	実施結果・内容			
有償ボランティア コーディネート	希望者等からの要請を受け地域や受け、地域や関係機関等との調整した。			
	○コーディネート件数 21件			
	○取扱い件数（1件で複数ニーズあり）			
	内容	件数	内容	件数
	草とり、草刈り	5件	買い物支援	1件
	家事の手伝い	1件	ゴミ捨て	4件
	障子張り	1件	庭木の剪定	1件
	網戸はり	1件	掃除	1件
	部屋の片づけ	3件	送迎	1件
	簡単な大工仕事	1件	灯油の購入	1件
○対応結果				
▼もちもちサービス対応		6件	▼既存の支え合いで対応	4件
▼シルバー人材と調整		2件	▼企業ボラ	2件
▼他機関と調整		8件		

【評価と展望】

- もちもちサービスのニーズの大半は、既存の団体あるいは、既存の支え合いで解決できるものがほとんどであった。その中で隙間を埋める「もちもちサービス」の仕組みは重要である。担い手を要請していくことも必要である。
- 既存の地域団体や機関と連携し、個別のニーズに対し相談できる関係、チームを組んで対応できる体制を整えることが重要である。

### Ⅲ 安心して暮らせるまちづくり

日常生活で支援を必要とする人が住み慣れた地域で暮らし続けるための各種在宅福祉サービス等を提供し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいを持って「安心して暮らせるまちづくり」を推進しました。

#### 1. 生活支援活動の推進

ひとりでは解決できない暮らしの中の悩みごとや、身体状況・居住環境による外出困難、認知症や障がい等による判断能力の低下、雪かき支援員の派遣等に対応するサービスを提供し、生活支援活動の推進に努めました。

##### (1) 心配ごと相談事業

暮らし中の悩みごとについて、1人で悩むことのないよう、解決の糸口を相談員とともに見出していく相談窓口を開設しました。

項 目	実施結果・内容
心配ごと相談	○ 毎月2回開設
司法書士相談	○ 相談件数67件

##### ● 相談内容 (単位：件)

区分	生計	土地 家屋	家族	離婚	財産	金銭 貸借	結婚	近隣	苦情	その他	合計
H28	2	22	5	0	15	6	1	3	0	7	61
H29	1	14	6	3	11	5	0	6	0	9	55
H30	0	15	6	3	23	5	0	2	0	13	67

##### ● 相談件数の推移 (単位：件)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
相談件数	73	55	61	55	67

##### 【評価と展望】

- 法律に関係する内容にも対応できるよう心配ごと相談と司法書士相談を併せて開設した。
- 大北地域各社協の相談日程を、社協おおまちや有線放送等で広く相談窓口を周知した。
- 相談内容により、高齢者や障がい、生活困窮等各種相談機関と連携しながら対応した。

##### (2) 福祉輸送サービス事業

ひとりでは公共交通機関が利用できない高齢者や障がい者等の外出を支援するため、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両による送迎サービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
通院や買い物等外出時の福祉車両による移動支援	○ 通院や買い物等の外出支援として福祉車両による送迎サービスを提供 運行時間 平日8:30～17:00（祝日・年末年始を除く） 利用料金 市内500円、市外1km当たり50円を加算 運行範囲 市内発着で市境から20km以内 ◆ 運行日数・回数 244日・延べ3,137回 ◆ 年度末利用登録者数 197人（うち新規登録者数 77人）
福祉車両の貸出	○ 空き時間に福祉車両を貸し出し（年末年始を除く） ◆ 利用回数 延べ7回

運転手の確保	○ 資格認定職員数 19名（専任1名）
料金の見直し	○ 引き続き、消費増税にあわせ、タクシー料金や他の輸送サービス事業の利用料を調査し、利用料金の見直しを検討していく。

● 年度末利用登録者数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
利用登録者（人）	138	142	132	144	197

● 拠点別運行回数の推移

（単位：回）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
大 町	1,778	2,179	2,058	2,165	2,721
八 坂	162	138	139	203	258
美 麻	124	89	91	90	158
合 計	2,064	2,406	2,288	2,458	3,137

【評価と展望】

- 福祉輸送サービスにより、受診や買い物等外出の機会が確保し、できるだけ利用者の希望に添えるよう、きめ細やかな対応を心掛けた。
- 大町・八坂・美麻の3地区共に運行回数は増加した。新規登録者数も77人と昨年の49人に比べて大幅に増加している。中でも大町地区は、透析を目的とした登録者が多くを占め、毎日3台の輸送車が稼働しており、運転手の確保が課題となっている。



### (3) 日常生活自立支援事業

大北地域の基幹的社協として、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の福祉サービスの利用援助や、日常的金銭管理等のサービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
福祉サービス利用 援助契約	○ 専門員による相談受付、県社協との協議、契約 ◆ 新規契約 2件 解約 20件 ○ 専門員、生活支援員による利用援助支援 ◆ 支援回数 874回（平均73回／月） ○ ケース検討会議の出席 対象者9人 延べ15回
成年後見制度との 連携	○ 成年後見相談会に出席し、判断能力の低下による利用者の相談をした 本事業から成年後見制度への移行4件
サービスの向上	○ 県全体の専門員を対象とした事例検討会に参加 ◆ 10月11日 安曇野市豊科公民館

#### ● 年度末契約者数・延べ支援回数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
年度末契約者数（人）	75	79	76	70	52
延べ支援回数（回）	2,204	2,780	2,570	2,291	1,729

#### ● 市町村別・対象者別契約者数（平成 31 年 3 月末現在）（単位：人）

対象者	大田市	白馬村	小谷村	合計
認知症高齢者	11	2	1	14
知的障がい者	14			14
精神障がい者	21	2	1	24
合 計	46	4	2	52

※ 松川村は平成 28 年度から準基幹的社協として直営で実施。

※ 池田町は平成 30 年度から単独実施社協として直営で実施。

#### 【評価と展望】

- 新規契約件数は減少傾向である。町村においては独自の金銭管理サービスの充実や、単独で本事業を受託する町村もある中で契約件数が減少している。
- 判断能力の低下が著しい利用者については、順次、成年後見支援センター、市町村行政、包括支援センター等の関係機関と連携しながら成年後見制度への移行を進めていく。

### (4) 成年後見支援センター事業

大北地域を対象に、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の成年後見制度の利用に関する相談や制度の普及・啓発を実施。親族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任するため、北アルプス成年後見支援センターを運営しました。

項 目	実施内容・結果
成年後見制度の利 用に関する相談・ 支援	○ 常設相談員による相談・支援を実施 ◆ 延べ 144件 ○ 成年後見無料相談会を開催（毎月） ◆ 延べ 32件 ○ 日常生活自立支援事業との連携 ◆ 日常生活自立支援事業から成年後見制度移行4件 専門職後見2件 センター受任2件

普及・啓発	<p>○普及啓発研修会を実施（地域包括支援センターと共催） 「成年後見制度の使い方」</p> <p>◆第1回 6月19日 27名参加 会場 白馬村役場 講師 司法書士 帯金康祐氏</p> <p>◆第2回 7月19日 30名参加 会場 池田町総合福祉センター 講師 社会福祉士 守屋幹雄氏</p> <p>◆第3回 8月29日 23名参加 会場 大町市役所 講師 弁護士 塩野悠子氏</p> <p>◆第4回 3月19日 18名参加 会場 松川村役場 講師 社会福祉士 守屋幹雄氏</p> <p>○普及啓発講演会を実施</p> <p>◆第1回 10月6日 49名参加（自立支援協議会との共催） 内容 講演 「やさしくわかる成年後見制度」 講師 弁護士 塩野悠子氏</p> <p>◆第2回 11月15日 37名参加 内容 講演「高齢者、いざという時の備え」 講師 司法書士 帯金康祐氏</p> <p>○広報紙、パンフレット、ホームページ等による広報を実施</p>
法人後見の受任	<p>○ 家族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任</p> <p>◆28年度末 3件（後見2件、保佐1件）</p> <p>◆29年度新規 4件（後見3件、保佐1件）</p> <p>◆29年度終了 3件（後見3件 死亡）</p> <p>◆30年度新規 5件（後見5件）</p> <p>◆30年度末 9件（後見7件、保佐2件）</p>
適正な事業運営	<p>○運営委員会の開催</p> <p>◆第1回 5月21日 正副委員長の選出について H29年度事業報告 受任状況報告</p> <p>○小委員会の開催</p> <p>◆第1回 8月23日 法人後見受任の適否について</p> <p>◆第2回 11月 6日 法人後見受任の適否について（書面議決）</p> <p>◆第3回 1月21日 法人後見受任の適否について</p>

●相談件数及び法人後見受任の推移 (単位：件)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
相談件数	—	—	99	120	176
法人後見受任件数	—	—	3	4	9

●市町村別・区分別相談件数 (単位：件)

市町村	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合 計
件 数	130	17	6	9	3	11	176
区 分	認知症高齢者		知的障がい者		精神障がい者		
件 数	69		29		39		

● 市町村別・類型別法人後見受任数(累計)

(単位：件)

類 型	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	合 計
後 見	5	2	2	1		10
保 佐	1	1				2
補 助						
合 計	6	3	2	1		12

【評価と展望】

- 成年後見制度利用促進法が施行され、日常生活自立支援事業との連携強化及び成年後見制度へのスムーズな移行が求められている。
- 法人後見の受任について、市町村行政及び地域包括支援センター、大北圏域障害者総合支援センターとの連携を充実していく。
- 身寄りのない被後見人の死亡時対応について、関係機関の役割の調整が不可欠である。
- 普及啓発事業の充実を図る。

(5) 豊かな暮らし応援事業

生活の不便さを少しでも解消するサービスの提供や、暮らしに役立つ講座の開催を通して、豊かな暮らしの増進に努めました。

項 目	実施結果・内容
美麻診療所患者輸送業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運行日数 141日(毎週月・水・木曜日)</li> <li>○ 延べ利用者数 249人(平均1.8人/月)</li> </ul>
八坂・美麻配食サービス配達業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 八坂・美麻地区内の高齢者等を対象に、各地域福祉センターを拠点とした配達ボランティアによる配食弁当の配達業務を実施</li> <li>◆ 配達件数(八坂：32食 美麻：延べ229食)</li> <li>◆ 実働ボランティア数(八坂：0人 美麻：0人)</li> </ul>
生活支援員(雪かき支援員)派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 独居または高齢者のみ等で雪かきが困難な世帯に支援員を派遣</li> <li>◆ 延べ派遣回数 1667回</li> <li>◆ 延べ作業時間 1,182.5時間</li> <li>◆ 延べ除雪機使用時間 565.5時間</li> <li>◆ 登録世帯数 216世帯(内実利用世帯数 181世帯)</li> <li>◆ 雪かき支援員数 82人、1団体</li> <li>○ 支援員登録者対象の説明会(11月16日)</li> <li>○ 支援員会議・意見交換会 ※ 事業期間終了後</li> <li>○ 市内自治会長を対象に、雪かき支援の現状説明会を開催 前年実績値をもとに、自治会別の支援員数と支援希望者数を提示 支援員不足の現状を理解いただき、本事業への協力を呼びかけ</li> <li>◆ 大町地区 共同募金大町分会会議(9月14日、参加者30名)</li> </ul>
高齢期安心生活支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢期を豊かで自分らしく生活するため、「知って得する社協の講座」を開催</li> <li>◆ 場所 大町市総合福祉センター大会議室</li> <li>◆ 内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>3月 1日 「収納講座」 参加者 22人</li> <li>3月 4日 「相続・遺言・民法改正」 参加者 19人</li> <li>3月 13日 「おき忘れたところ」 参加者 37人</li> <li>3月 20日 「スポーツ吹き矢体験」 参加者 18人</li> <li>3月 29日 「財産や権利を守るために」 参加者 18人</li> </ul> </li> </ul>

項 目	実施結果・内容
金銭管理及び財産 保全サービス事業	○ 専門員による相談受付、契約 ◆ 新規契約 15件 解約 4件 ○ 専門員による利用援助支援 ◆ 利用援助支援回数 104回（平均8回／月）

● 金銭管理及び財産保全サービス推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
年度末契約者数（人）	—	—	—	—	11
延べ相談等支援回数（回）	—	—	—	—	233

【評価と展望】

（美麻診療所患者輸送業務）

- 従前の利用者の重度化に伴い、他院の往診や移送サービス利用が増える傾向にあることから、送迎診療による患者数が減少。乗降時は補助しながら安全に送迎ができた。

（八坂美麻配食サービス配達業務）

- 配達ボランティアの育成ができず、職員対応となり対策が必要。
- 利用人数が少ないことも要因。

（生活支援員派遣事業）

- 支援員の確保が難しい。自治会の理解と協力が不可欠であり、説明を重ねていく。
- 支援した高齢者から感謝の声が届いている
- 雪かき支援活動が地域の支え合い活動につながっている。

（高齢期安心生活）

- 高齢期安心生活支援業務は、新たに、スポーツ吹き矢体験で体を動かすメニューを加えたところ、この体験がきっかけでサークル活動に参加するようになったとの声があった。
- 相続や遺言、収納等定番の講座だが、新たな参加者も多く、より多くの知識を取得しこれからの活動に活かしたいという前向きな気持ちの現われと感じた。今後も継続して生きがい活動と介護予防につながる講座を開催していく。

（財産保全）

- 一人暮らしの高齢者の割合が高い。解約のうち1名は成年後見制度へ移行した。支援が必要と判断されるケースが多く、今後契約者数は増加すると見込まれる。



生活支援員（雪かき支援員）高齢者宅の除雪



社協の講座（高齢期安心生活支援業務）  
～スポーツ吹き矢体験～

## 2. 高齢者福祉活動の推進

改正介護保険制度に対応し、高齢者が生きがいを持って充実した在宅生活を継続できるよう、また、利用者、介護者の多様なニーズに応えるべく、柔軟なサービス提供に努めました。

### (1) 居宅介護支援事業

「利用者本位」と「自立支援」を基本に、利用者の状況に応じた迅速な対応に心がけ、より質の高いケアマネジメントに努めながら、居宅介護支援サービスを提供しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 61人 ○ 延べ利用者数 855人（平均65.8人／月）
居宅介護サービス計画の作成・モニタリング	○ 本人と家族の意向を聞き、介護保険サービス計画書を作成・給付管理を行った。（介護予防サービス計画書作成・給付管理） ○ 毎月1回以上自宅に訪問してモニタリングを実施した
介護全般の相談・手続きの代行	○ 入院、退院時の相談、施設への相談を行った ○ 介護全般に関わる相談を随時受け付けた ○ 介護認定の更新、住宅改修、福祉用具購入の手続きの代行した
ケアプラン指導研修等の参加	○ 大北圏域で開催された各種研修会等に参加し、資質向上に努めた ○ H30年介護保険改正に伴う制度の把握に努めた

#### ● ケアプラン作成件数の推移 (単位: 件)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 支 援	130	120	105	225	※172
要 介 護	933	956	838	575	※683
合 計	1063	1076	943	800	855

※13カ月実績

【評価と展望】
○ 介護支援専門員として資質の向上を図り、ケアマネジメント業務充実に努めた。
○ H30年4月の介護保険制度改正に併せ、事業所内で勉強会を行う事でスムーズに業務が行えた。
○ 独居や高齢者世帯等で家族支援が得られないケースに対し、関係機関との連携を強化して対応した。
○ 介護保険以外にも地域の実情に合わせた多様なサービスを提案した。

### (2) 訪問介護事業

介護・医療・福祉の職種の方と連携をとりながら、その人の意志を尊重し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 営業日数 396日 ○ 年度末契約者数 130人 ○ 延べ訪問時間 19,535.75時間（平均1,502.75時間／月）
安定経営とサービスの向上	○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 ◆総合事業 8名 介護保険 20名 他10名依頼あり訪問無し
職員の資質向上	○ 介護技術向上のため、年間計画を作成し、定期的な研修を実施した
設備整備	○ 訪問用軽車両 寄贈により整備できた
介護改定への対応	○ 利用料金変更を利用者及び介護者への説明と契約変更の手続き ◆担当別に対応しスムーズに実施できた

● 延べ訪問時間数の推移

(単位:時間)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 支 援	2,695	2,800	2,785	2,805	※2,503
要 介 護	18,262	16,683	15,394	15,308	※17,033
合 計	20,957	19,483	18,179	18,113	19,536

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 外部講師並びにサービス提供責任者による定期的な研修会を開催し、介護資質・技術の維持向上に努めた。
- ケアマネージャーと積極的に連携を図り、新規利用者の確保を行った。
- 家族や関係者からの情報と訪問記録との比較により、細やかなサービス提供に繋げるべくケアマネージャーへの情報提供や共有ができた。
- 今後を考えて職員の確保と維持に努める。

(3) 訪問入浴介護事業

自宅での入浴を希望する利用者に、安心して心地よいサービスを提供しました。また、介護相談などを通して介護者の負担軽減につながるよう支援を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 278日 (12/29～1/3を除く月～金曜日)</li> <li>○ 平均契約者数 21.1人/週 4.2人/日</li> <li>○ 延べ訪問回数 1099回 (平均84.5回/月)</li> </ul>
訪問入浴サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 皮膚トラブルや体調の変化に迅速に対応した</li> <li>○ ケアマネージャーに近況報告や空き状況等、密接に連絡や連携がとれた</li> </ul>
中山間地域への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白馬村・小谷村に積極的にサービス提供を受け入れた</li> <li>◆延べ利用者数内訳: 白馬・小谷 607人・大町ほか 492人</li> </ul>
サービスの質の向上	○訪問介護・訪問入浴部会の研修に参加した
報酬改定への対応	○4月～利用者及び介護者への説明と契約変更の手続きを行った

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ利用者数	596	571	763	789	※1099

※13 カ月実績

【評価と展望】

- これまでのサービス提供・実績の積み重ねにより新規利用の受け入れにつながった。今後もケアマネージャーとの連携強化に努めたい。
- 入浴用担架に付属した体重計の活用により、訪問看護等医療機関への情報提供など連携が図れ、ご利用者の健康管理が向上した。引き続き在宅で提供できるサービスを充実させるとともに連携強化を図りたい。

#### (4) 通所介護事業

##### 【1】 デイサービスセンターひなたぼっこ（認知症対応型デイサービス）

地域とのつながりを深めながら、認知症の進行緩和と心身機能の維持・改善を図るとともに、介護者の支援も視野に入れたサービスを提供し、在宅生活が継続できるよう支援しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 390日（年末年始12/29～1/3を除く、13ヶ月）</li> <li>○ 年度末契約者数 27人</li> <li>○ 延べ利用者数 3,053人（平均234.8人／月、7.8人／日、13ヶ月）</li> </ul>
安定経営とサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者確保のための受け入れ態勢の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆事前の申し込みの受け付けや当日の臨時利用にも迅速に対応した</li> <li>◆法人保有車使用し、希望の送迎時間等に対応した</li> <li>◆医療的な体調管理を主治医、訪問看護師、ケアマネージャーと連携</li> </ul> </li> <li>○介護相談（なんでも相談）による関係づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ご家族が気軽にお茶を飲みながら相談できる環境を提供した</li> <li>◆ご家族が行事に参加できるようにし、透明化を図った</li> </ul> </li> <li>○事業所情報誌の発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆デイの様子や職種ごとに介護のコツ等情報提供した（3ヶ月ごと）</li> </ul> </li> <li>○年末臨時入浴サービスの提供（自費サービス：1,400円） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施日：12月30日 利用者数：10人（昨年同数）</li> </ul> </li> </ul>
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症緩和ケア等専門研修会への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆認知症疾患医療センター開催の講演会等へ参加し実践した</li> </ul> </li> <li>○経験に応じた職種内の分業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆資格や経験を活かし、担当者会議、ケース検討会や職員会等で専門性を発揮できた</li> </ul> </li> </ul>
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の方によるボランティア活動の機会づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 7回実施 ボランティア13人、利用者65人、職員62人、ご家族2人、運営推進委員4人、大家さん1人</li> <li>◆地域との連携・運営の透明性の確保を目的とした会議を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 9月28日 ・第2回 2月22日（白塩町との鍋会と併せ開催）</li> </ul> </li> <li>◆職場体験学習の受け入れ（第一中学校女子2人：2日間）</li> <li>◆第一中学校2学年家庭科授業と連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>介護事業所等で古布をリサイクルし、手提げや座布団など制作</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
報酬改定への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者及び介護者への説明と契約変更手続き <ul style="list-style-type: none"> <li>◆改定に合わせ準備し、順調に実施できた</li> </ul> </li> <li>○サービス提供時間区分変更への柔軟な対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆提供時間区分の理解とその利用単価について説明した。また必要に応じて提供時間の変更に対応した</li> </ul> </li> </ul>

##### ● 延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 介 護	2,598	2,892	3,124	3,022	※3,053

※13 カ月実績

<p>【評価と展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ショート・ロングステイ利用者が増えた。独居や介護者の高齢化、症状の重度化による移行が窺える。運営面への影響が大きかった。今後もこうした方の受け入れや施設入所へ転換する方が増えると予測している。</li> <li>○ 当デイサービスの目玉、生活リハビリは充実し成果が高い。日課の中に利用者のやりがいや残存能力を維持する事に繋がる貴重な時間である。継続したい。</li> </ul>
---

- 介護者やサービス担当者からの相談も多く寄せられ、より身近なデイサービスと位置づけられた。これからも「ひとり一人が窓口」となって安心できるサービスへ繋げたい。
- 職員の資格や経験を活かした運営ができたが、後継者づくりを今後の課題とし、事業所のあり方（雰囲気など）継承していきたい。
- ボランティアとして関わっていただく方の担い手不足を感じた年であった。第一中学校との新たな関わりをこれからも育んでいきたい。
- 市内広範囲への送迎により希望される時間に到着することが困難となってきた。安全面も考慮し1台送迎車（軽もしくはミニバン）を確保できた。

## 【2】 デイサービスセンターこすもす

季節感あふれる行事と選べる昼食を提供しながら、利用者の心身機能の維持・向上を図り、在宅生活の継続を支援する、通所サービス提供を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 390日（年末年始を除く）</li> <li>○ 年度末契約者数 64人（要介護39人、総合事業25人）</li> <li>○ 延べ利用者数 5,810人（平均446.9人／月、14.8人／日）</li> </ul>
安定経営とサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新規利用者：総合事業10名 介護保険7名</li> </ul> </li> <li>○ 年末臨時入浴サービス <ul style="list-style-type: none"> <li>◆12/29 機械浴のみ 2名</li> <li>12/28 臨時利用 2名 1/4 臨時利用 1名</li> </ul> </li> </ul>
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護技術向上研修会への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆定例ミーティング内での自主研修実施（認知症・介護保険の改正について・嚥下・身体メンテ他）</li> </ul> </li> </ul>
設備整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特殊浴槽の更新に向けた情報収集と検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆4月・12月に特殊浴槽業者との打合わせ</li> <li>障害サービス利用者：月・火曜日1名、木曜日2名</li> <li>特殊浴利用増加につながる他サービスも検討</li> </ul> </li> </ul>
経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経費節減対策の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者あて請求領収明細書の配布を、家族・本人への手渡しに変更</li> <li>シート交換の見直し、飲み物選択の検討など</li> </ul> </li> </ul>

### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 支 援（事業対象者）	2,449	1,740	1,834	1,607	※1,729
要 介 護	3,942	4,124	4,024	4,149	※4,081
合 計	6,391	5,864	5,858	5,756	5,810

※13カ月実績

### 【評価と展望】

- A型事業所が少ないこと、職員体制が整わず近隣のデイサービスが日曜日の休業を決めたことなどから、こすもすに対する期待度は大きいと感じたが、こすもす自体も職員の確保が難しく体制を維持することが困難。
- 介護保険事業に関らず講師を招いての内部研修を企画することができた。他の事業所とも連携し資質の向上に努めたい。
- 特殊浴が2台あることの利点を生かし利用者確保に努めていきたい。介護保険利用者のみではなく、障害サービス利用者等が利用できる環境を整えておく。
- 特殊浴があることで、障がいのある方が利用したいとの声も多く聞かれるため、要望に応えられるよう整備していきたい。

### 【3】 デイサービスセンターみさか

利用者と介護者の希望に応じたサービス提供に努めました。

項 目	事 業 結 果 ・ 内 容
事業実績 (13月の実績数値)	○ 開設日数 278日(年末年始を除く月～金曜日) ○ 年度末契約者数 49人(要介護34人、総合事業15人) ○ 延べ利用者数 4,445人(平均342.0人/月、16.0人/日)
日常生活支援事業の取り組み	○行政及びケアマネ等と連携を密にし、速やかな移行と新規利用者の受け入れに努めた。
新規利用者の確保	○ 新規利用者 16人(八坂地区10人 大町地区6人)
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施(12月29日 利用者2人)
芸能ボランティア等の受入れ	○ 四季を通じボランティア等の受入れ・外出による現地見学の実施 ◆読み聞かせ 1回/月 ◆音楽療法 12回/年 ◆歌謡・踊り・手品・大正琴等 11回/年

#### ● 延べ利用者数の推移 (単位:人)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 支 援	836	718	740	695	※857
要 介 護	3,526	3,724	3,451	3,127	※3,588
合 計	4,362	4,442	4,191	3,822	4,445

※13カ月実績

#### 【評価と展望】

- 利用回数が多く介護度の高い方が、施設入所・入院・ショート利用への移行もあったが、利用者数は増となった。(対前年比:30年4月～31年3月(12月分) 108%)
- 要支援、総合事業を含め、通院や家族都合による利用変更など利用者ニーズに応じた柔軟な対応に努めた。
- 引き続き経費削減に努めるとともに新規利用者の確保に努め、サービス向上に努める(30年度 新規利用者確保 16人)
- これからも一人暮らし生活の利用者が増える傾向にあり、在宅で安心して暮らせるよう利用者支援に努める。

### 【4】 デイサービスセンターみあさ

心身機能の維持・向上のため個別に機能訓練などを積極的に取り入れ維持向上に努めました。

項 目	事 業 結 果 ・ 内 容
事業実績	○ 開設日数 278日(年末年始を除く月～金曜日) ○ 年度末契約者数 46人(要介護 32人、総合事業14人) ○ 延べ利用者数 5,326人(平均409.7人/月、19.2人/日)
利用者ニーズに応じたサービスの提供	○通院等による曜日変更や臨時利用などに柔軟に対応
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施(12月30日 利用者14人)
入浴設備の活用	○ 利用者の身体状態に合わせた安心・安全な特浴とリハビリ浴を活用 ◆ 特浴利用者数 平均13.5人/月
新規利用者の確保	○ 新規利用者 8人

#### ● 延べ利用者数の推移 (単位:人)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
要 支 援	909	723	598	807	※928
要 介 護	2,889	3,433	3,558	3,770	※4,398
合 計	3,798	4,156	4,156	4,577	5,326

※13カ月実績

【評価と展望】

- 利用者や家族のニーズに合ったサービス提供に心がけ、医療機関や関係機関との連携により、スムーズに対応できた。
- 冬期のショート利用の方が多かったので、他の利用者の冬期利用回数を調整し、利用数を確保した。合わせて職員稼働の調整に努めた。
- 家族・利用者の要望に迅速に対応することで信頼関係が深まり利用回数の増に繋がった。
- 個別に機能訓練など実施し心身機能の維持・向上を図りたい。
- 特殊浴槽利用者が増加傾向であるが、設備に不具合があることから早めの整備が必要となっている。

### 3. 障がい者福祉の推進

個々の能力を活かし、その人らしい豊かな地域生活が送れるように多様な福祉サービスを提供しました。また、地域で支える住民に障がいへの理解を促す啓発活動の推進に努めました。

#### (1) 障がい理解促進事業

講座の開催や講師派遣、交流をとおして障がい福祉への理解の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
障がい者理解促進講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お出かけボランティア養成講座」を開講 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第1回 8月31日 9名参加 信州あいサポーター養成講座【講師：信州あいサポート推進員 馬場氏】 アイマスク、ガイドヘルプ体験【講師：地域福祉係 田辺】</li> <li>◆ 第2回 9月7日 9名参加 障がいの基礎知識【講師：障害児童係 桑澤】 車いす体験【講師：地域福祉係 高橋】</li> <li>◆ 実習体験 9/10～14 ひまわりの家 5名/がんばりやさん3名</li> </ul> </li> </ul>

【評価と展望】

- 障がい理解促進講座では、高齢者も含む障がい者の手助けに感心をもっている方の研修の機会となり、希望の旅への付き添いとしての参加につながった。

#### (2) 障がい者余暇活動支援事業

イベントの企画・運営、情報発信により、障がい者の社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
希望の旅	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リフト付き大型バス2台運行で企画・募集し、実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 実施日 9月21日</li> <li>◆ 行き先 上越市立水族館うみがたり ・うみてらす名立</li> <li>◆ 参加者内訳 参加者48人（内訳：身体16人、療育76人、精神2人、付添家族9人、支援ボランティア8人、職員6人）</li> </ul> </li> </ul>
いっぽの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「クリスマス会」12月14日（5人）</li> <li>○ その他11企画 延参加人数 88人</li> <li>◆ 4/27（7人）、5/25（9人）、6/22（9人）、7/27（9人） 8/24（9人）、9/28（7人）、10/26（9人）、11/30（9人）、 1/25（7人）、2/22（5人）、3/29（8人）</li> </ul>

● 障がい児・者希望の旅事業参加者数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
参加者数（人）	48	44	44	41	48

【評価と展望】

- 障がい理解促進講座開催の結果、多くの講座受講生がボランティアとして参加し、障がいへの理解促進につながった。



希望の旅（9/21）上越水族館

### （３）障がい者就業支援事業

地域で安心して働くことができるよう障がい者と事業所等、双方に情報提供を行い、就業に必要な訓練・実習など支援し、社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
就労に向けた支援 (職業準備訓練、現場実習機会の提供)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援対象障がい者数 265人</li> <li>○ 障がい者に対する相談・支援件数 1,206件</li> <li>○ 職業準備訓練及び職業実習のあっせん数 20件</li> <li>○ 就職件数 21件</li> </ul>
雇用についての企業への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者短期トレーニング促進事業により、障がい者の短期職場実習（１ヵ月以内）に係る経費を実習者に支給</li> <li>◆ 対象者：障害者就業・生活支援センター登録者</li> <li>◆ 利用者：13人(延べ74日実施)</li> </ul>
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大町公共職業安定所雇用指導官と連携し、企業訪問を実施</li> </ul>
職場定着支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいを開示している人の就労先へ定期訪問し、事業所の困りごとと在職者の困りごとについて調整</li> <li>○ 企業への訪問以外では、就職後の面談、電話・メール等での相談支援</li> </ul>
特性を踏まえた雇用管理についての事業所に対する助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電話、訪問、支援会議等により、知的障がい者の職場実習後の雇用検討、トライアル雇用期間中の精神障がい者の就労状況調査、発達障がい者の雇い入れに向けた調整、高次脳機能障がい者の職場復帰に向けた調整等</li> <li>◆ 相談・支援実施事業所：28事業所</li> </ul>

● 大北圏域の障がい者の就業実績の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29
就職件数（件）	17	16	36	18	21

【評価と展望】

- 障がいを開示せずに就労している方については、本人と事業所の間でトラブルが生じても支援者が直接介入できないことから、働き続けることが難しいケースが多い。
- 一般就労を希望していても生活習慣や就業に向けた準備が整っていないために福祉的就労に繋げるケースが多い。

（４）地域生活支援事業

保健・医療・地域の支え合い活動などと連携し、相談支援サービスならびに、障害福祉サービス利用にあたっては利用計画を作成しました。

【１】障害福祉サービス計画支援事業（スクラム・ネット）

障害福祉サービスの計画的な利用について関係機関と連携しながら相談・計画支援にあたりました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末登録者数 70人</li> <li>○ 延べ利用者数 231人（平均17,7人／月）</li> </ul>
障害福祉サービス計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者等の心身状態・環境等を把握し、在宅生活が継続できるサービス利用計画を作成</li> <li>○ 計画作成者には、定期的なアセスメント・モニタリングを実施</li> </ul>
関係機関等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービス事業者や関係機関との連携による利用者への支援体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関係者会議、事業所見学同行の実施</li> <li>◆ 自立支援協議会・サービス相談支援部会への参加</li> </ul> </li> </ul>
専門職の資質・技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修等への参加による情報・知識の習得、ケアマネジメント技術の向上</li> </ul>

● 計画作成・モニタリング件数の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
計画作成件数（件）	29	30	33	57	※64
モニタリング件数（件）	57	91	76	116	※167

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 本人の状態に合わせたサービス計画内容の検証を重要視して単一的な計画にならないように心がける。
- 次年度は基本単価が引き下げとなるため、加算を確実に取得する。

## 【2】大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）

障がい者や家族等からの相談に応じ、必要となる情報の提供や援助を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末登録者数 419人</li> <li>○ 延べ利用者数 1,269人（105人／月）</li> <li>○ 障がい児相談支援勉強会 25人（3月22日 大町市総合福祉センター）</li> </ul>
管内町村へ出張相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひきこもり等相談会を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 池田町1回、松川村6回、白馬村1回</li> <li>◆ 延べ相談件数：20人</li> </ul> </li> </ul>
ピアカウンセラー・ペアレントメンターによる相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある相談員や障がいのある子どもを育てている親が、対等な立場で話を聞き、その経験を生かした相談支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ペアレント・メンター相談会 8回開催</li> </ul> </li> </ul>
発達障がい者の当事者会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達障がいの診断を受けている、おおむね高校卒業以上の方の当事者会を開催した。</li> <li>○ 目的は、①参加者同士の悩みの共有・共感②社会生活上の情報交換③興味や関心が同じ仲間との出会い④リラックスして楽しめる集い。</li> <li>○ 大町市総合福祉センターにて 参加者数は 4月13日(土)5人 7月13日(土)6人 10月12日(土)6人 1月12日(土)5人</li> </ul>
一般相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神病院、障害者支援施設等から地域へ戻る希望のある方に対して地域の情報提供や各種体験を実施して安心して生活ができるよう支援</li> <li>○ 実績 定着支援2件／月</li> </ul>
当事者団体等支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自立支援協議会当事者部会の活動の中で、困りごとに対して助言を実施</li> <li>○ 団体からの要望により勉強会へ講師を派遣 オルカの輪</li> </ul>
自立支援協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体会と各専門部会を組織し、共通の目的に向けた情報の共有と関係者によるネットワークを構築</li> <li>○ 勉強会を開催 11月10日（土）「これからの福祉を考える」40名 大町合同庁舎 講堂</li> </ul>

### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ利用者数（人）	5,457	5,327	4,770	5,143	1,269

### 【評価と展望】

- H30 度の実績数値は低いが、自立圏の職員のみ相談件数報告となったため。
- 基幹相談支援センターの役割を市町村、相談支援事業所等関係機関と検討が必要となっている。
- 一般相談支援事業が稼働し始めた。緊急時の訪問の依頼はないが、電話対応は増えている。

### 【3】発達障がいサポート・マネージャー事業

発達障がい者を直接支援している方々に、より専門的な支援を実施していただけるようアイデア提供や専門家への橋渡しを行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末登録者数 102人（単年度登録者数）</li> <li>○ 延べ利用者数 561人（平均46.8人／月）</li> <li>○ 個別支援以外の会議等への出席など 延べ 208回 （平均17.3回／月）</li> </ul>
個別のケースにかかわる活動	○ 相談・連携・打ち合わせ・支援会議・医療紹介・同行受診・電話相談などを、本人やご家族、支援者に対して実施
個別支援以外の活動	○ 研修会・連絡会議・講師・長野県発達障がい支援対策協議会 協力部会員（自立・就業部会、診療体制部会）・自立支援協議会（県、圏域）・自立支援協議会事務局・池田町子育て支援ネットワーク委員・大北圏域発達障がい診療地域連携病院連絡会・当事者の会（いっぽの会、発達障がい者当事者ミーティング）
学校巡回相談	○ 圏域内の中学校8校、高等学校3校、圏域外3校（圏域出身者対象）へ年間3回ずつ巡回訪問し、環境調整や対応方法など情報交換や助言をした。進路について等は移行支援を検討し、就業支援ワーカーなどとの連携を実施（個別支援は別途対応）

#### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
個別の相談 延べ利用者（人）	308	311	368	448	561
30年度登録者数 （人）	72	73	69	79	102
個別以外の支援 開催延べ数（回）	205	224	236	245	208

#### 【評価と展望】

- サポート・マネージャー配置から5年目。どんなことを相談し、どうやって利用したらいいのかわかりやすくなった。
- 学校から連携を求められるケースが増え、進路なども、外部と連携して相談していくことが多くなってきている。
- 今年度は警察や児童相談所、病院等との困難ケースの解決のための連携が多くなった。
- 自ら発達障がいを疑い、支援を求めてくる成人期以降のケースが増え、ひきこもりのケースも含め、青年期成人期の支援体制作りが今後、必要となる。
- 当事者ミーティングを年間4回開催し参加者は延べ24人だった。（1回平均6人）。就労の事、年休の申し出の仕方やそのタイミング、長い休みの過ごし方、余暇のこと、など、テーマを出してもらい、意見を出し合った。次年度につなげていきたい。
- ひきこもり等に携わっている職員が増えているが、ケースも手法も多様。相談は長期化するが本人の変化は乏しいことから、関係者の連携が必要と感じる。今年度は特に関係者会議を持たなかったが、連携や情報交換を行った。来年度につなげていきたい。

#### 【4】 障害者地域活動支援センター事業（ハーモニー・ルーム）

講座を通して仲間づくりをし、在宅生活の意欲向上につながる講座作りに努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 契約者数 40人</li> <li>○ 延べ利用者数 1,829人（平均152.4人／月、6.9人／日）</li> </ul>
講座型事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の希望を取り入れ、利用者同士の交流も含め、楽しく活動できる講座を企画（年間19講座）実施</li> <li>絵画、ちぎり絵、アレンジメント・フラワー、絵手紙、カーレット・ボッチャ、大人のぬり絵、機能訓練、童謡唱歌、陶芸、自由創作、はた織、紙粘土料理、草木染、カラオケ、外出（美術館、映画鑑賞、公園等）、押し花、革細工、トールペイント</li> </ul>
健康づくりのための機能訓練・外出活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下肢筋力低下予防等のための機能訓練講座（1回/月）</li> <li>○ カーレット、ボッチャ（各1回/月）</li> <li>○ 外出講座（美術館、バラ園、映画鑑賞など）</li> </ul>
地域との結びつきを重視したサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社協エントランスホールでハーモニー展を開催（活動の紹介）</li> <li>○ 大町市文化祭に出展</li> <li>○ 県障がい者展に出品、見学</li> <li>○ 長野銀行大町支店、大町市大町『森の休息』にて作品展を開催</li> </ul>

#### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ利用者数（人）	1,750	1,695	1,294	1,478	※1,829

※13 カ月実績

【評価と展望】
○ 参加者の少ない講座は2カ月に1回にし、自由創作の講座を取り入れ、個々に興味のある作品作りに取り組める講座を増やした。
○ 参加者の少ない講座を統合し、より多くの人が参加しやすい講座を増やした。（自由創作、ボッチャ、カーレット）
○ 参加講座にバラつきがあるため、更に利用者のニーズにそった講座の検討が必要である。
○ 利用者の高齢化や体調の変化により、利用が減少傾向にある。新規利用者の開拓に努める。

#### 【5】 障がい者等生活支援事業

##### ① 移動支援サービス

通院や余暇活動等、希望に応じた支援を実施しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 396日</li> <li>○ 契約者数 4人</li> <li>○ 延べ利用時間数 156時間（平均12時間/月）</li> </ul>
外出時の支援	○ 通院やスポーツクラブ参加等への外出介助を実施

#### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ利用時間数（時間）	121	71	94	182	※156

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 通院・買い物等での利用のため、所要時間や支援頻度が定まらないサービス。可能な限りニーズに応じた提供に努めた。
- 今後とも変則的なニーズに対応できるよう体制整備を図りたい。

## ② 日中一時支援事業

障がい児や家族の日中活動を支援しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施日数 14日</li> <li>※ 学校長期休業中の利用・土曜日の利用</li> <li>○ 登録者数 2人</li> <li>○ 延べ利用時間数 68時間（平均4.8時間／日）</li> <li>○ 登録サポーター3名</li> </ul>
1対1対応の支援	○ 利用者1人にサポーター1名 ひまわりの家にて実施

### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ利用時間数（時間）	603	467	325	161	68

【評価と展望】

- GH入居により1名が終了。専属サポーターも終了となった。安曇養護学校高等部 3 年生 1 名の支援を継続。同 1 名の卒業で次年度の稼働は休止。今後は新規需要に応じた稼働となる

## （5）障がい福祉サービス事業

個々の環境に応じた自立した在宅生活に求められる能力が引き出せるよう、保健、医療、地域の支え合い活動等と連携しながら、各種障がい福祉サービスを提供しました。

### 【1】 障がい者居宅介護事業

住み慣れた自宅で自立した生活が送れるようにサービスを提供しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 396日</li> <li>○ 平均契約者数 33人/月</li> <li>○ 延べ訪問時間数 5,150時間（平均396時間／月）</li> </ul>
職員の資質向上	○障がいの特性の理解を深める内部研修の実施
関係機関との連携	○ 利用者や家族、計画相談員、市福祉課等と連携し、支援方向を検討

### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ訪問時間数（時間）	6,751	6,964	6,470	5,810	※5,150

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 介護保険への移行や併用の増加。長期入院等により、訪問時間は減少した。
- 馴染みのヘルパーを計画的に派遣することで、安心と信頼関係の構築が図れた。
- 計画相談員と密な連携調整を図りながら新規受け入れを積極的に行う。提供時間帯の要望に可能な限り調整を行い対応していく。

## 【2】多機能型障害福祉サービス事業

生活介護・就労支援を提供し、心身の維持と発達の可能性を図れる実践に努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 277日（年末年始・祝日を除く月～金曜日＊休日販売会含む）</li> <li>○ 年度末登録者数 58人（生活介護19人、就労支援39人）</li> <li>○ 延べ利用者数 10,181人（平均783人／月、38人／日） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ひまわりの家 7,381人（平均568人／月、27人／日）</li> <li>◆ すずらん 1,847人（平均142人／月、6人／日）</li> <li>◆ たんぽぽ 953人（平均 73人／月、3人／日）</li> </ul> </li> </ul>
自主製品の販売増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期販売会ザビック大町店（毎月第3木曜日大北地域6事業所合同）</li> <li>○ 地域イベント販売会への出店（年間21会場）</li> <li>○ 焼き芋機を増設。前年度比70,000円の増</li> <li>○（新規）刺繍ふきん。作業に定着（利用者の新たな能力開発にも繋がる）</li> <li>○（新規）ベンガラ泥染。売り上げ向上（染ムラを出さないよう要改善）</li> <li>○（新規）ケール栽培。（農園作業 自主製品化に向けた検討）</li> </ul>
心身機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リハビリ体操。理学療法士の指導の下、個別指導を実施</li> <li>○（新規）ヨガ療法士による活動は、利用者には技法の理解が難しく導入が困難であった。（次年度は他の活動への変更を検討）</li> <li>○ 四季を通じた外出。余暇、レクリエーション活動を利用者の状況に合わせ実施</li> </ul>
報酬改定への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（新規）受託作業契約3社</li> </ul> <p>工賃の維持、向上のため新たな作業を受託し増収。新規利用者7名を迎えながらも平均工賃は、前年度並みに維持することが出来た</p>
啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（新規）精神障がい当事者が集える「いこい」毎月1回 開設</li> <li>○（新規）ご家族が集える「福寿草の会」毎月1回開設 GH見学会実施</li> </ul>

### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
就労継続支援B型(人)	4,496	4,703	5,101	5,608	※6,450
生活介護(人)	3,610	3,546	3,795	3,773	※3,731
合計(人)	8,106	8,249	8,896	9,381	10,181

※13カ月実績

### ● 利用区分別年度末契約者数

（単位：人）

	生活介護（障害支援区分）						就労継続 支援B型	合 計
	1	2	3	4	5	6		
ひまわりの家	0	2	3	4	2	0	27	38
たんぽぽ	0	0	0	1	2	5	—	8
すずらん	—	—	—	—	—	—	12	12
合計	0	2	3	5	4	5	39	58

【評価と展望】

- 利用登録者の内、年齢 70 代の方が 12%を占める。30 年度 2 名が介護保険サービスへ移行し利用終了となった。今後、ADL の低下とともに、日常支援の質の変化ならびにサービスの移行支援が求められてくる

## 4. 子育て支援活動の推進

安心して子どもを産み育てるためには、子どもの成長に応じた支援の提供と継続的な支援体制が必要です。現在市内にはどのような子育てに関する課題があり、どのような支援体制が望まれているのか、市内子育て支援団体との連携を深めることに努めました。

### (1) 子育て応援ネットワーク事業

子育て支援関係者との相互連携により、課題や資源の情報共有の場づくりに努めました。

項 目	実施内容・結果
子育て支援関係者ネットワークへの参加	<p>◆ 北アルプス地域子ども応援プラットフォームへの参加 北アルプス地域振興局呼びかけにより平成 29 年度末にスタート。情報交換や地域の課題を把握し、子どもの居場所「信州こどもカフェ」開設を目指し活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会や研修会への参加</li> <li>・大北管内の居場所活動を見学</li> <li>・実態調査アンケートの実施。</li> </ul> <p>◆ 市内住民の取り組み支援 子どもの長期休みの期間で地域での居場所づくりや交流の場づくりの支援を実施。 (支援地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上ー「ゆずり葉の会」5/31 実施</li> <li>・神栄町「大人と子どもがつながる食堂」3/25 実施</li> <li>・大新田町「みんなでお昼を食べよう会」3/26 実施</li> </ul>

【評価と展望】

- 長期休みの子ども達の居場所づくりを中心に、多様な子どもの居場所について地域住民と一緒に検討していくことで、地域づくりにつながった。

### (2) 育児支援ヘルパー派遣事業（訪問介護事業所）

産前産後の心身不調等で支援を必要とする家庭に、サービス提供を行います。

項 目	実施結果・内容
育児支援ヘルパー派遣	<p>○ 稼働日数 20 日（年末年始除く月～金曜日）</p> <p>◆ 3 件</p>

【評価と展望】

- 出産後の必要に応じた支援の訪問が 3 件依頼あり、実地。
- 保健師と必要なサービスの調整を図りながら妊産婦の希望に応じ、心身状況を考慮しつつ産前産後の不安が少しでも軽減できるように関わりを持っていく。

### (3) 療育支援事業（スクラム・ネット）

障がい児及び障がい傾向のある児童に早期発見と療育支援を行うことで、穏やかな生活が送れるよう助言・指導・相談支援を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末登録者数 386人</li> <li>○ 延べ利用者数 2186人（平均 182人/月）</li> </ul>
障がい児等療育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 訪問療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 保護者に対する相談・指導（405回実施）</li> <li>巡回相談、親の会（オルカの輪・よつばの会・こぶしの会 等）</li> <li>ペアレント・トレーニング、ペアレント・メンター相談会</li> <li>基本相談（来所相談・電話相談）、同行支援</li> </ul> </li> <li>○ 在宅外来療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 児に対する相談・指導（206回実施）</li> <li>SST指導、集団療育、基本相談（来所相談・電話相談）、同行支援</li> </ul> </li> </ul>
障がい児等療育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設支援一般指導事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関係機関の職員に対する相談・指導（1144回実施）</li> <li>巡回相談及び来所相談</li> </ul> </li> <li>○ 市町村発達障がい者支援体制強化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 圏域自立支援協議会事務局、普及啓発研修会、市町村発達支援事業への協力（フォローアップ教室、5歳児相談、就学相談 等）</li> </ul> </li> </ul>
児童発達支援巡回相談業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大田市及び白馬村の保育園・幼稚園・小学校・中学校における、巡回訪問による相談及び指導（256回実施）</li> </ul>

#### ● 実績数値の推移

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
訪問療育等支援事業（人）	456	739	511	586	574
在宅外来療育等事業（人）	1,040	669	458	430	590
施設支援一般指導事業（人）	972	1,284	1,051	1,761	2015

#### 【評価と展望】

- 市町村療育担当や養護学校教育相談専任との連携を図り、保育・教育機関からのニーズに合わせたタイムリーな対応が出来るようになってきている。人材不足に変わりはないが、圏域内で稼働出来る作業療法士や臨床発達心理士の増員が出来たことは成果である。
- 地域の連携支援体制の充実と機能強化に課題があり、特に乳幼児健診やフォローアップ教室の教育支援体制強化が必要。

## 5. 経済的支援活動の推進

不安定な収入などにより経済的に困っている人が生活意欲を取り戻せるよう、一時的な資金の貸付と生活相談や就労相談を行いました。

また、火災や自然災害等で被災した世帯への当面の生活確保に必要な支援体制を整え、経済的支援活動の推進に努めました。

### (1) 生活困窮者等自立支援事業

経済的に困っている人からの相談に応じ、継続的な生活支援や就労支援等を行い、関係機関と連携しながら経済的自立・社会的自立の促進を図りました。

(長野県社会福祉協議会が大町市総合福祉センター内で実施)

項 目	実施内容・結果
自立相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 265日(年末年始・祝日を除く月～金曜日)</li> <li>○ 新規相談者数 80人</li> <li>○ 自立支援プラン作成人数 46人</li> <li>○ 延べ支援回数 305件(平均25件/月)</li> <li>○ 支援調整会議を開催(毎月1回及び随時) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 参集対象 県・市福祉事務所、ハローワーク、その他関係機関</li> <li>◆ 内 容 自立支援プランの適否の協議、プラン終結評価等</li> </ul> </li> <li>○ あんしん創造ねっと(長野県内社協公益事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県住入居に伴う入居保証支援契約 2件</li> </ul> </li> <li>○ 食糧支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ななせ仲まち園 6件</li> <li>◆ 大町市社協フードボラ 47件</li> </ul> </li> </ul>
大北地域連絡会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大北地域連絡会に職員出席</li> <li>◆ 生活就労センター大北地域連絡会(1月8日)</li> </ul>

### ● 実績数値の推移

年 度	H26※	H27	H28	H29	H30
新規相談者数(人)	105	106	95	64	80
自立支援プラン(人)	19	53	46	30	46

※H26はモデル事業

### ● 市町村別相談者数

(単位:人)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
41	16	7	8	6	2	80

### ● 市町村別延べ支援件数

(単位:件)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
138	65	45	37	16	4	305

### 【評価と展望】

- 多様で複合的な課題が多く、相談者の生活状況の把握が難しい。
- 中高年の引きこもり、介護離職、多重債務、ギャンブル依存に対しては、就労支援とともに家計支援を図る。
- 県、市町村行政、地域包括、ハローワーク、スクラム・ネット、まいさぼ出張所等関係機関との一層の連携が必要である。

## (2) 家計相談支援事業

相談者とともに家計再生プランを作成し、定期的な面談と必要に応じた公的機関の利用支援等を行い、自らが家計を管理できるように、関係機関と連携しながら自立の促進を図りました。

項 目	実施内容・結果	
家計相談支援事業	○ 開設日数	244日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）
	○ 新規相談者数	29人
	○ 家計再生プラン作成人数	3人

### ● 実績数値の推移（平成 30 年度より事業を実施）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
新規相談者数（人）	—	—	—	—	29
家計支援プラン（人）	—	—	—	—	3

#### 【評価と展望】

- 相談者の中には、ギャンブル依存等の問題があり、自立相談支援機関と連携しながら支援している。
- 相談の際は、通帳や公共料金の領収書等を確認しているが、相談者の中には、拒否される方がおり、対応に苦慮している。
- 相談者の家計を分析し、公的制度の利用や貸付あっせん、その後の定期的な面談等を行うことで、継続的な自立支援に加えて潜在的なニーズの掘り起こしを行う。

## (3) 資金貸付事業（小口資金・生活福祉資金）

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付と生活相談を実施しました。

項 目	実施内容・結果
関係機関と連携した自立支援の推進	○ 貸付相談の内容に応じ、まいさぼ大町、家計相談支援員、行政やハローワーク等関係機関と連携
定期的な訪問による償還指導	○ 小口資金の借受人宅訪問や電話等による償還指導を実施 ○ 県社協と連携し、生活福祉資金の長期滞納者を訪問し、償還指導を実施
償還依頼通知発送	○ 小口資金貸付金の償還依頼通知を年2回発送
滞納整理、返済不能貸付金の欠損処分等	○ 小口資金欠損処分 1件 ○ 生活福祉資金長期滞納者の生活状況等を調査し、県社協に提出 償還免除 1件

### ● 生活福祉資金貸付状況（平成30年度中）

資金種別		貸付申請		貸付決定		年度末貸付金残高		完済 件数
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
小口資金（大町市社協）		1	60,000	1	60,000	9	772,566	7
生活福祉資金 （県社協）	総合支援資金					5	1,863,447	1
	緊急小口資金					7	568,069	
	教育支援資金					14	5,352,458	1
	福祉資金					9	10,450,555	1
	合 計					35	18,234,529	3

※年度末貸付金残高には利子・延滞利子を含む

※完済件数には欠損処分及び延滞利子減免件数を含む ※離職者支援資金は総合支援資金を含む

● 貸付決定件数の推移 (単位：件)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
小口資金	8	13	9	4	1
生活福祉資金	4	5	1	0	0

● 年度末貸付金残高（元金）の推移 (単位：円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
小口資金	1,251,500	1,200,204	1,023,400	550,900	397,000
生活福祉資金	15,951,128	15,020,880	14,297,782	13,119,156	11,751,658

【評価と展望】

- 貸付件数は年々減少している。
- 小口資金では、初回給料日までの生活費として、貸付を行った。
- 長期滞納者への償還指導において、訪問しても不在が多い。滞納が長期化する前の償還指導を実施していく。
- 県社協やまいさば大町等関係機関との連携を強化し、相談支援体制を整えていく。

#### (4) 災害見舞金等支給事業

被災した市民または遺族に対し、行政等と連携し援護物資や各種見舞金を支給しました。

項 目	実施結果・内容
被災者からの要請による援護物資（寝具一式）の支給	○ 被災者からの要請による寝具一式支給（1件・3組）
被災した会員への災害見舞金の支給	○ 被災状況に応じた災害見舞金の支給 ◆住宅火災 全焼 2件（20,000円）
被災世帯への県共同募金会災害援護金の支給	○ 被災状況に応じた災害援護金の支給 ◆住宅火災 全焼 見舞金 2件（20,000円） 弔慰金 1件（20,000円）
交通・災害事故の遺児等の把握と県社協への見舞金申請・支給手続き	○ 交通・災害事故の遺児見舞金の支給 ◆実績なし

● 災害見舞金等支給実績の推移（大町市社協予算で支給したもののみ計上）

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
寝具支給数（組）	5	4	0	2	3
見舞金支給数（世帯）	72	2	0	3	3
見舞金支給額（円）	230,000	13,000	0	23,000	60,000

【評価と展望】

- 行政と調整をしながら、迅速かつ適切に対応できるように努めた。

## Ⅳ 受け継がれるまちづくり

地域福祉活動を継続的に展開するため、住民の福祉意識の高揚と担い手の育成に努めました。

### 1. 地域における福祉意識の啓発

広報紙等による福祉情報の発信や社会福祉功労者の表彰、市民からの福祉啓発標語の募集を通して、地域福祉の意識啓発に努めました。

#### (1) 福祉情報発信事業

広報紙やホームページを活用し、地域福祉に関する情報発信に努めました。

項 目	実施内容・結果
広報紙「社協おおまち」の発行	○ 地域の住民活動に焦点をあてた記事を中心に掲載 ◆ 年6回（偶数月1日）発行 （全戸配布9400部 詳細別記）
ホームページの充実と活用	○ 各広報紙のほか、各種講座の募集やお知らせなど、タイムリーな記事を掲載

#### ●広報紙「社協おおまち」の発行内容

号数	発行日	主な内容
193号	4月1日	西山住宅ふれあいサロン（表紙）/コアラのぼっけ/ボランティアリーダー研修会/社協の備品/法人会員お礼/一般会費のお願い/社協の体験学習・出前講座
194号	6月1日	大新田町うたごえのつどい（表紙）/30事業計画・予算/生活支援係事業紹介/成年後見無料相談会案内/市民ふれあい広場/やまびこまつり
195号	8月1日	上一健康体操（表紙）/H29決算・事業報告/災害サポーター養成講座/地域の雪かき支援について/希望の旅
196号	10月1日	清水しゃくなげ会（表紙）/お出かけボランティア講座/「コアラのぼっけ」/大北ボランティアフォーラム/赤い羽根共同募金ほか
197号	12月1日	八日町小地域福祉ネットワーク（表紙）/障害者スポーツ「ボッチャ」/レクリエーション交流会/福祉センターの利用案内/大町地区共同募金事業紹介/大町市社会福祉大会のお知らせ
198号	2月1日	美麻地区新行どんと焼き（表紙）/雪かき支援員/フードドライブ/平地区共同募金事業紹介/赤い羽根共同募金大口募金者名簿/ボランティアリーダー研修会お知らせ

#### 【評価と展望】

○ 広報紙については、地域の活動やタイムリーな記事の掲載に努めた。



## (2) 地域福祉意識啓発事業

社会福祉功労者の表彰や福祉啓発標語の募集を通して、地域住民の福祉意識の啓発に努めた。

項 目	実施結果・内容
大町市社会福祉大会の開催	○開催日 平成31年2月9日 ○場 所 サン・アルプス大町 参加者 180人 ○内 容 ・表彰 社会福祉功労者表彰 多額寄付者感謝表彰 輸送サービス車愛称入選者表彰 福祉啓発標語最優秀者表彰 ・講演 「災害情報と災害報道」 講師 山崎 登 氏 (国土館教授・元NHK解説主幹)
社会福祉功労者表彰	○ 大町市社会福祉大会において、社会福祉功労者の表彰と多額金品寄付者への感謝状贈呈を実施(詳細別記)
福祉啓発標語の募集と入選作品の表彰	○ 市内各校及びボランティアニュースで啓発標語の募集を行い、選考委員会で入選作品を選考 ◆ 募集時期 10～12月 ◆ 募集部門 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校、一般 ◆ 応募総数 444点 ◆ 選考結果 入選作品35点(最優秀5、優秀9、佳作21) ○ 大町市社会福祉大会で最優秀賞の表彰を実施 ○ 入選作品をイベントや市総合福祉センター内で展示、ボランティアニュースや各種会議資料に掲載

### ● 表彰者数(個人5人、団体3団体)

区 分	表彰基準	表彰者数
表 彰	保護司	1人
	心配ごと相談員	1人
	社会福祉事業団体役員	2人
	優良活動団体	1団体
感謝状	多額金品寄付(個人)	1人
	多額金品寄付(団体)	2団体

### ● 福祉啓発標語応募点数の推移

(単位:点)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
小学校低学年	125	95	116	49	45
小学校高学年	169	248	145	219	76
中 学 校	0	434	323	157	302
高 等 学 校	0	20	23	21	15
一 般	6	6	4	7	6
合 計	300	803	611	453	444

#### 【評価と展望】

○ 福祉啓発標語では、小学校から一般まで、幅広い年代の方に取り組んでもらうことで、福祉への関心や関わりをもつきっかけとなっていることから、引き続き、福祉標語募集を継続していく。

## 2. 地域の担い手育成

地域住民や子どもたちへの福祉教育の推進と、地域の助け合い活動につなげるための担い手育成に努めました。

### (1) 福祉教育推進事業

地域や小中高等学校での出前福祉体験講座と相談支援活動を行った。

項 目	実施結果・内容
福祉教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社協事業を掲載した冊子を市内小中高校に配布し、事業説明と情報交換を実施</li> <li>○ 高齢者疑似体験、車いす体験、手話学習、点字学習、アイマスク体験、ボッチャ体験等の出前講座を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 3小学校（延べ10回）、1中学校（延べ3回）、1高校（延べ13回）</li> </ul> </li> <li>○ 物づくり指導、レクレーション指導、ボランティアセンター業務紹介等の出前講座を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 延べ9回（小地域福祉ネットワーク等）</li> </ul> </li> </ul>

#### 【評価と展望】

- 地域や各小中高等学校に出向き、福祉体験講座を実施することで、きめ細やかな要望への対応や、地域の方との対話や連携の場につながった。
- 今後も地域や学校への出前体験講座を通して、福祉教育の推進と啓発に努めていく。
- 小学校で、障がい者スポーツのボッチャ体験をすることで、障がいに関心をもつきっかけとなった。

### (2) 生活支援体制整備推進事業（生活支援コーディネーター）

地域支え合い体制づくり協議会（第1層）での運営協力、各エリアごとの協議会（第2層）の立ち上げ協力を行った。また大町地区南部エリア（第2層）の運営、各生活支援コーディネーターの連絡会議等を実施した。

項 目	実施結果・内容		
大町市地域支え合い体制づくり協議会への参加		開催日	内容
	第1回	4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規委員の委嘱（連合自治会、社協）</li> <li>・老人福祉計画の説明</li> <li>・協議会の役割と前年度の取組み</li> <li>・第1層コーディネーター推薦（人事異動）</li> <li>・第2層設置にあたり勉強会の計画</li> </ul>
	第2回	7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規委員の委嘱（ドコモ）</li> <li>・第2層の設置スケジュール</li> <li>・いいまち・おおまち支え合いフォーラム2018</li> <li>・4面会議システムを用いた実践行動計画づくり</li> <li>・生活支援COの活動報告</li> </ul>
	第3回	10月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層設置に向けた取組みについて</li> <li>・買い物サポート事業について</li> <li>・モフトレーニングの活用（ドコモ）</li> <li>・ふれあいホールのクリスマスイベント</li> <li>・80歳以上を対象にした生活実態調査について</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守りネットワークについて</li> <li>・生活支援ＣＯの活動報告</li> </ul>
	第4回	1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層生活支援ＣＯの配置について</li> <li>・委員の委嘱（北部・南部生活支援ＣＯ）</li> <li>・保険外サービスの把握状況調査について</li> <li>・ＩＣＴサポーターの養成について</li> <li>・生活支援ＣＯの活動報告</li> <li>・H31年度の委員の改選について</li> <li>・まちの縁側講座 in おおまちの開催結果について</li> </ul>
地域課題や地域資源の見える化	生活支援コーディネーターとして、住民の集いだけでなく、民間企業が関わる地域の社会資源を把握。通信や社協報を通じて地域に発信した。		
サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成	<p>◆介護人材養成講座への協力（北アルプス広域連合主催） 9月～10月にかけて実施された講座の運営協力。サロン実習の受け入れ。</p> <p>◆小地域福祉ネットワーク研修会（再掲） 先進地事例を踏まえ、これから必要な地域活動について学ぶ機会を提供。</p>		
生活ニーズの把握	生活支援員派遣制度の利用者を対象に、生活ニーズ把握調査を実施。		
協議体での意見交換	1月より大町地区南部エリアの第2層協議会の生活支援コーディネーターの委託も受け、住民の話し合いの場づくりを始めた。		

#### 【評価と展望】

- 30年度中に各包括支援センター単位で2層の支援体制が構築され、地区ごとに生活支援コーディネーターが設置された。各包括支援センターや2層の生活支援コーディネーターとの連携を深め、支え合いの仕組みを構築していく必要がある。
- 高齢者の「自分らしい暮らし」を支える体制作りを、地域住民と一緒に考えながら動いていくことが求められている。

### 3. 地域福祉活動団体の育成

市内で活動中の福祉団体に対する相談支援や助成金の交付を通して、各団体の育成を図りました。

#### （１）企業ボランティア育成事業

項 目	実施内容・結果
企業が行う地域貢献活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本会役員を始め、本会が事務局を担う共同募金委員会などに民間企業の等参画を得る中で、地域活動等に理解いただくよう努めた。</li> <li>○ 大北地区労働者福祉協議会においては、生活困窮者への課題に対応すべく、メーデー等でフードバンク活動を行うとともに、災害等も含めいかなる場合でも対応できるよう食料の備蓄を始め、本会地域福祉担当及び生活困窮者相談担当者との連携を図った。</li> <li>○ 生活困窮の方の草刈りのニーズに対し、企業の社会貢献活動の支援を行った。</li> </ul>

【評価と展望】

○今後も、地域にある具体的な課題を把握し、その課題を企業等へ発信するよう努める。

(2) 地域福祉活動団体育成事業

項 目	実施内容・結果
福祉団体等の活動への助成	○ 地区社協・福祉団体等が行う活動に対し、社協会費・共同募金配分金を財源に助成金を交付（4月申請受け付け、5月交付決定、6月交付終了） ◆ 6地区社協 2,260,100円 ◆ 福祉団体 285,000円
ボランティア活動への助成	○ ボランティア団体が行う活動に対し、5万円を限度に助成金を交付 ◆ 15団体 481,400円
ボランティア活動保険掛金助成	○ ボランティア活動保険掛金の一部（Aプラン170円/人・Bプラン250円/人）を助成 ◆ Aプラン 241,910円 Bプラン 101,250円

●地区社協助成金交付実績

(単位：円)

地区名	地域交流事業	啓発活動事業	ネットワーク支援事業	合計
大町	192,000	60,000	683,900	935,900
平	100,000	100,000	167,500	367,500
常盤	167,000	0	180,000	347,000
社	167,000	0	169,700	336,700
八坂	60,000	10,000	50,000	120,000
美麻	123,000	0	30,000	153,000
合計	809,000	170,000	1,281,100	2,260,100

●福祉団体助成金交付実績（共同募金財源）

(単位：円)

共同募金活動区分	団体名	助成額
老人福祉活動	大町市老人クラブ連合会	50,000
障害児・者福祉活動	大町市身体障害者福祉協会	35,000
	大町市手をつなぐ育成会	30,000
児童・青少年福祉活動	大町市子ども会育成連絡協議会	50,000
福祉育成・援助・組織化活動	大町市民生児童委員協議会	55,000
	大町市保護司会	25,000
	大町市遺族会	30,000
	大町市更生保護女性会	10,000
合計		285,000

● ボランティア活動団体助成金交付実績（社協会費財源）

(単位：円)

団体名	事業内容	助成額
安曇養護学校大町地区PTA	地域貢献活動（施設花植え等）	24,000
おさんぽの会「まつぼっくり」	地域貢献活動（子育て支援）	50,000
大町市朗読グループかつこう	福祉教育啓発活動（朗読図書作成等）	10,000
大町点訳ほたるの会	福祉教育啓発活動（広報紙の点訳）	20,000
シニア大学常盤地区同窓会睦会	地域貢献活動（駅前草刈活動等）	20,000
要約筆記サークルおきあがりこぼし	学習研修活動（学習会）	6,000
賛助会大町グループ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	20,000
団体名	事業内容	助成額

アルプスリンゴーズ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	50,000
ファミリーサポートバンビ	学習研修活動（子ども向け調理実習等）	25,000
ゆずり葉の会	地域貢献活動（高齢者交流会）	50,000
大町山岳博物館友の会 ボランティアサークル	学習研修活動（ガイド研修会等）	50,000
スリーアールの会	地域貢献活動（不用食器の回収学習会）	25,000
ルンタの風	国際交流、地域貢献活動（広報紙の発行）	46,400
オルカの輪	学習研修活動（障がい支援）	35,000
おはなしの会「やしろ」	学習研修活動（学習会）	50,000
合 計（15団体）		481,400

#### 【評価と展望】

- 平成 30 年度助成分より、共同募金配分金財源で助成していた福祉団体への助成金が、新たな公募配分として一般公募による助成事業となった。新たな団体へ有効に共同募金が活用されるよう推進を図る。
- ボランティア活動団体への助成金交付により、地域貢献活動や学習研修活動等のボランティア活動の支援と広く周知し、新たなボランティア団体への助成につなげる。
- ボランティア基金を活用したボランティア活動保険掛金助成制度も定着し、継続してボランティア活動保険加入する人が増加している。
- 今後も活用しやすい助成金制度について検討し、活動団体の育成を図っていく。



大町市内の地域活動